

# 大分県下専門職能団体

## （拡大運営会議構成団体）活動報告

### <記載項目>

- ①会の現状
- ②地域リハ関連の活動・取り組み
- ③地域リハ活動における課題・今後の展開

# 大分県医療ソーシャルワーカー協会

会長 井元 哲也



## 1. 協会の現況

<正会員数>227名（H26年3月31日時点） 賛助会員 8団体

<執行部>会長 副会長 常任理事 理事 計15名

平成25年度理事会開催 13回

<研修部>

### 【初任者研修】

主に経験年数3年未満の会員を対象とし、全3回実施した。

開催日：平成25年7月13日、8月18日、10月5日

場 所：大分県社会教育総合センター（大分県ニューライフプラザ内）

内 容：

第1回 参加者：32名

『大分県医療ソーシャルワーカー協会のこれからと皆さんに期待する事』

『医療ソーシャルワーカーの歴史（日本協会）』

『医療ソーシャルワーカーの歴史（大分県協会）』

第2回 参加者：34名

『ソーシャルワークの価値・倫理』 『アセスメントについて』

『記録について』 『社会資源について』 『ソーシャルワーカーに求めるもの』

第3回 参加者：21名

『面接技法』・『事例検討』

### 【実習指導者養成研修】

主に経験年数5年以上の会員、昨年度までの当研修受講者を対象に全3回実施した。

開催日：平成25年7月13日、7月28日、平成26年2月9日

場 所：大分県社会教育総合センター（大分県ニューライフプラザ内）

内 容：

第1回 受講者：6名・補講者：1名・聴講者：2名

『ソーシャルワークの価値・倫理』・『実習プログラミング』・『実習マネジメント』・『実習プログラミングシート』

第2回 受講者：6名・補講者：1名・聴講者：1名

『病院にソーシャルワーカーがいる意味』 『組織と連携』

『面接技法』 『スーパービジョン』

第3回 受講者:3名

『実践報告会』

【フレッシュ研修】

入職後2年未満の医療ソーシャルワーカーを対象とし、平成25年9月22日に実施した。

参加者:23名

場 所:農協共済別府リハビリテーションセンター

内 容:『知っておきたい社会資源』

【公開セミナー】

全会員を対象とし、平成25年12月8日に開催した。参加者は95名。

場 所:別府ビーコンプラザ

内 容:『MSWに求められる記録とは』 『相談援助職の記録の書き方』  
『ソーシャルワーク実践報告』

【災害ソーシャルワーク研修】

全会員を対象とし、平成26年3月23日に開催した。参加者は69名。

場 所:大分県社会教育総合センター(大分県ニューライフプラザ内)

内 容:テーマ『“喪失と再出発”を支えるソーシャルワーク～被災者支援における専門  
的機能～』

【大分県社会福祉士会基礎研修(他団体との連携)】

開催日:平成25年8月24日・25日、9月1日、10月20日・27日

平成26年1月26日、2月16日 全7日間

参加部員:5名

<学術部>

- ① 平成24年度の研究における「やりがい」の概念定義をもとに、全会員を対象とした「やりがい」についてのアンケート調査を実施。
- ② 会員の学術研究活動の機会や環境について、アンケート調査により現状把握および課題の整理を行った。

上記二つのアンケート調査の実施にあたり、質問紙作成と集計作業が主な活動であった。アンケート調査では、短い実施期間にもかかわらず、多くの会員より回答を頂くことが出来き、①はデータ解析を終え、ソーシャルワーカーのやりがいの諸相を明らかにしたための研究活動を進めている。また②に関しては、記述式アンケートであったため、会員の率直な考えや実態を知ることができ、今後の事業展開にとって大変貴重なものとなっている。

## <広報部>

協会員へ情報を発信するとともに、広報活動により各々が専門性とはなにかを再考できる機会を作る。また、協会活動を他団体や地域へ広く理解していただくよう工夫するを活動目標とし、以下、1～5の活動をおこなった。

### 1. ホームページの更新

- ・研修案内等、全般の更新をその都度行った。計 58 回

### 2. Facebook の立ち上げと運用

- ・今年度、立ち上げて運用を開始した。
- ・投稿、管理については、理事、広報部で行った。

※10/1-3/31 ページに関連するコンテンツを見たことのある人の数 10300 人

1ヶ月平均 1717 人 登録者数 158 人

### 3. メールマガジンの普及活動と情報発信

- ・今年度より、広報部がメールマガジンの管理を行うこととなった。
- ・利用人数 179 人 / 発行部数 70 通
- ・お知らせのみでなく、協会を身近に感じてもらうために月 1 回「理事コラム」の発信を行い、内容は自由とした。
- ・コラムと Facebook のコラボレーション企画を行った。

### 4. 広報誌の発行

- ・協会ニュースかはら版の作成、発行を行った（年 3 回 8 月、11 月、3 月）

### 5. 啓蒙活動

- ・協会入会の啓蒙チラシを作成し、研修会等にて配布した。
- ・7月のソーシャルワーカーデイに合わせ、合同新聞に会長のインタビューを掲載。医療ソーシャルワーカーの仕事について広く紹介した（7月13日号）。

## <ネットワーク推進部>

相談援助職がお互いに研鑽できる場、経験豊かなソーシャルワーカーからのアドバイスを気軽に受けやすい機会の提供など、よりよい協会員のネットワーク作りに向けて以下のような活動をおこなった。

### 1. 地区コミュニケーション会議の実施

「ソーシャルかふえ」と称して軽食等を準備し、経験年数を問わず気軽に参加できる雰囲気づくりに努め、西部地区、南部地区の2地区で開催した。

### 2. リレーフォーライフ大分 2013 への参加

日時：平成 25 年 9 月 14 日（土）～15 日（日）

場所：大分スポーツ公園大芝生広場 会員参加人数：38 名

内容：チーム「土（さむらい）」として大分県理学療法士協会と共同参加し、準備・運営を行った。

### 3. 「第 14 回げんきフェア」（大分県保健医療団体協議会主催）への参加

日時：平成 25 年 10 月 13 日（日） 場所：全労済ソレイユ

内容：地域住民、他団体への参加者に向けて、①医療費相談ショートムービーの上映②医療ソーシャルワーカーの紹介パンフレットの作成と配布③よろず相談所の開設を行った。

#### <災害ソーシャルワーク班>

大分県における災害ソーシャルワークの基礎づくりを最終目標と据え、災害ソーシャルワークの調査・分析を実施し、体系化に向けた協議を行うことを目的とし、以下活動をおこなった。

総会直後の5月末に『災害後の生活再建における在宅医療連携と医療ソーシャルワークの機能』と研究テーマを設定し、災害後の人々の生活を、在宅医療につなげる過程における医療ソーシャルワーク機能の調査・分析を進めてきた。その過程においては、班員自らが被災地に赴き被災者支援を実施。また、実際に被災地で活動を行ったMSWへのインタビューを通して災害を現実的に体感した。それら活動の報告としては、日本協会が発行する災害支援ニュースやかはら版、研修等で、全国及び県内の会員にその実態や実感を報告した。

1. 班会議：全9回（毎月第3金曜日）

2. インタビュー：被災地支援経験者11名に実施

実施期間は平成25年11月20日～平成26年2月27日

3. 被災地支援：①平成25年8月19日～21日、②平成25年8月21日～23日

③平成25年12月4日～5日

4. 災害ソーシャルワーク研修：平成26年3月23日

5. 日本ソーシャルワーク学会参加：平成25年6月29日～30日

#### 2. 地域リハ関連活動取組（下記内容に伴う会議について省略）

- ・大分県地域包括ケア研究会
- ・ふくしまっ子応援プロジェクト
- ・日本脳外傷友の会第13回全国大会2013inおおいた
- ・地域リハビリテーション・ケア研究大会
- ・大分大学社会福祉科学講座
- ・多職種共同による在宅チーム医療を担う地域リーダー研修
- ・大分市在宅医療・介護連携会議

#### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

医療と介護の連携をはじめ、地域リハビリテーション、地域包括ケア推進における地域連携において医療ソーシャルワーカーが求められる役割は大きい。当協会においては、個人を支援するうえで最も重要となる個人の価値を尊重し、自己決定における支援を進める視点を持ち、地域生活の実現へ向けた支援を進めていくソーシャルワーカーの育成に寄与し続けることで地域の福祉向上の一端を担って行きたいと考えています。

# (公社) 大分県栄養士会

会長 安部 澄子



## 1. 会の現状

会員数 781名(平成26年3月31日現在)

職域分野 (7)	支 部 (7)	
(1) 学校健康教育 47名	大 分	(大分市・由布市)
(2) 公衆衛生 47名	別 府	(別府市)
(3) 教育・研究 30名	東 部	(日出・国東・杵築)
(4) 勤労者支援 12名	北 部	(宇佐・中津・豊後高田)
(5) 地域活動 160名	豊 肥	(竹田・豊後大野)
(6) 医療 313名	南 部	(佐伯・臼杵・津久見)
(7) 福祉 172名	西 部	(日田・玖珠)

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 1) 研修会 (後援・協力)

- ①第10回大分県地域リハビリテーション支援センター  
大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
- ②大分県地域リハビリテーション研究会研修会
- ③第24回中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター  
「地域包括ケアシステム研修会」
- ④第25回中部圏域大分地域リハビリテーション広域支援センター  
「地域包括ケアシステム研修会」
- ⑤大分県地域包括ケアマネジメント研修会
- ⑥大分県地域包括支援センター研修会
- ⑦大分県地域リハビリテーションケア研究大会
- ⑧大分県地域ケア会議スキルアップ研修会

### 2) 主催

- ①生涯学習研修会 (卒後教育)
- ②大分県栄養士会調理研修会 (栄養士・調理師)
- ③大分県栄養士会実務新人研修会
- ④第13回大分県栄養士学会
- ⑤大分県スポーツ栄養研究会 (第Ⅱ期)
- ⑥栄養ケア活動支援整備事業潜在栄養士発掘のための研修会
- ⑦地域包括ケアシステム会議担当者研修会  
(大分県における地域ケア会議の動向) ～栄養士への期待～
- ⑧第7回すこやか家族応援団子育て博覧会
- ⑨ヘルパー調理講習会

⑩親子チャレンジクッキング

⑪男性料理教室

3) 共催

- ・おおいた食のリハビリテーション研究会  
(大分県栄養士会・言語聴覚士会・歯科衛生士会・介護福祉士会)  
第13回研究・交流会「口から食べるために必要なケアとは」  
～介護職として考える～  
第14回研究・交流会「摂食・嚥下障害へのアプローチの実際」
- ・大分県社会福祉介護研修センター  
介護担当技術研修「摂食・嚥下セミナー」講師派遣
- ・大分県保健医療団体協議会「げんきフェア」

4) 会議出席

- ①大分県地域リハビリテーション研究会・役員会・拡大運営委員会
- ②中部圏域大分地域リハビリテーション支援センター連絡協議会・実行委員会
- ③大分県介護予防市町村支援委員会 口腔機能向上・栄養改善向上専門部会
- ④大分県在宅歯科診療検討部会
- ⑤大分県豊の国 8020 運動推進協議会
- ⑥大分県保健医療団体協議会
- ⑦大分県糖尿病対策推進委員会
- ⑧慢性腎臓病（CKD）予防対策推進会議
- ⑨ヘルシースタートおおいた推進委員会
- ⑩各市町村における地域ケア会議
- ⑪第1・2・3回地域ケア会議多職種派遣事業調整会議
- ⑫大分県災害ボランティアネットワーク運営委員会
- ⑬大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会

5) 講師派遣

- ・大分県社会福祉介護研修センター 「摂食・嚥下セミナー」
- ・職業能力開発支援事業 大分県竹工芸訓練支援センター介護講義(栄養及び調理)
- ・介護労働安定センター介護労働講習(ケアサポート講習)
- ・大分県調理師試験受験準備講習会
- ・大分県赤十字血液センター健康相談事業
- ・大分市食育サポート養成教室
- ・高齢者介護予防(栄養改善)事業
- ・介護職員初任者研修
- ・介護職員現任者研修
- ・介護支援専門員医療・介護連携研修
- ・介護入門教室
- ・食育事業 保育園・幼稚園・小学校・PTA 等対象講話及び調理実習・赤ちゃん教室等
- ・高齢者健康づくり指導者養成講座

6) 公民館・各種団体の依頼による講話や調理実習

- ・いきいき健康料理教室（会場：大分県都市農村交流研修館）調理実習  
（参加者 30 名）5 月～11 月 5 回
- ・中津市食生活改善推進協議会総会 講話（参加者 150 名）5/17（金）
- ・アクティブヘルス教室修了生の会（会場：はさま未来館）講話（参加者 50 名）6/18（火）
- ・介護職員初任者研修（会場：大分工業会館）講義（参加者 20 名）7/2（火）
- ・大分県立大分豊府高等学校「出前講座」 講義（参加者 8 名）7/12（金）
- ・由布市農村女性推進協議会総会 講話（参加者 50 名）7/30（火）
- ・大分市公立幼稚園専任園長会他夏季研修会 講話（参加者 55 名）7/30（火）
- ・中津市消費生活市民講座 講話（参加者 50 名）8/8（木）
- ・第 34 回自治労全国保育集会 調理実習（参加者 31 名）8/12（月）
- ・大分市公立幼稚園 P T A 連合会研修会 講話（参加者 95 名）9/9（月）
- ・別府市お口さわやか健康教室 講義（参加者 30 名）10/18（金）
- ・南部地区調理部会研修会（会場：植田公民館）調理実習（参加者 18 名）8/17（土）
- ・「みんなでよろうちどこでも体操」ボランティア養成講座（会場：宇佐市役所）  
講話（参加者 40 名）9/19（木）
- ・津久見市「地域ケア会議活用推進事業」ふれあいいいきいきサロン（会場：津久見市内 5 か所）  
講話（参加者 50 名）2/5（水）2/18（火）3/9（日）3/12（水）3/20（木）
- ・大分税関支署健康講演会（会場：大分港湾合同庁舎）講話（参加者 30 名）12/6（金）
- ・津久見市「家庭教育」学習会 講話（参加者 40 名）12/13（金）
- ・調理実習（会場：エスペランサ・コレジオ）調理実習（参加者各 20 名）H25. 4～H26. 2
- ・健康講座「げんき教室」（会場：大分県看護研修会館）講話（参加者 90 名）3/26（水）
- ・健康バランス教室 講話（参加者各 30 名）  
（会場：はさま未来館・庄内保健センター・湯布院コミュニティセンター）  
9/26（木）2/4（火） 9/12（木） 2/13（木） 9/20（金）2/7（金）

3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

- ・医療と福祉との連携による在宅支援  
在宅訪問栄養指導の実施  
在宅での摂食・嚥下困難、障害のある方への対処  
在宅での栄養、食事に関して問題のある方への支援  
地域ケア会議での栄養ケアマネジメントに対する理解  
（専門職としてのスキルアップ 管理栄養士の視点の統一）  
（公社）大分県栄養士会では、栄養ケア・ステーション事業として栄養相談、  
食生活相談「食と栄養」、病態栄養及び調理等に関してよろず相談を実施している  
電話無料相談（来所も可） 相談員：健康栄養アドバイザー  
一般相談（水曜日）10:00～15:00  
妊婦、乳幼児相談（火・水・金）10:00～15:00



#### 4. 厚生労働省国庫補助事業

平成 25 年度栄養ケア活動支援整備事業

豊の国湯けむりプロジェクト～楽しく食べて伸ばそう健康寿命～

#### 5. 広報活動

- ・ホームページによる啓発普及活動
- ・「栄養おおいた」「ゆたか」発行
- ・栄養、食生活関連パンフの配布

#### 地域ケア会議

##### ① 管理栄養士に対するスキルアップ研修の実施

栄養・食支援について専門的な視点から個人に対する栄養アセスメントを理解し適正な支援が出来るようスキルアップが重要であり、管理栄養士の質の向上を計るための研修会を実施する。

##### ② 他職種及び地域連携を密にして、食を通して生活を整えていく事業を展開する。

##### ③ 在宅訪問栄養指導の実際

高齢者の栄養改善は、食生活全般を見る必要があるため、複合的（疾患、病状栄養状態）な健康課題を持つ高齢者に対しての栄養及び食事の指導が必要である。特に第二次生涯健康県おおいた 21 策定計画において各分野の取り組みについて協力し、介護予防にもつながる在宅訪問栄養食事指導の重要性を強く感じている。

公益社団法人として県民の公衆衛生に寄与することにより社会的責務を果たすことを目的に事業を展開しています。

# NPO法人 大分県介護支援専門員協会

理事長 千嶋達夫



特定非営利活動法人 大分県介護支援専門員協会は、「介護保険制度が利用者主体の制度として確立されるよう、専門的知識及び技能を研鑽し、介護支援専門員の資質及び社会的地位の向上に努めることにより、公正・中立なケアマネジメントの実現を目指し、県民の健康と福祉の向上に寄与すること」を目的として、平成18年2月に設立された団体です。現在、約480名の会員が在籍し、県下14支部協議会が組織化されています。

## 基本方針

- 1) 介護支援専門員の専門的資質及び職業倫理の向上
- 2) 介護支援専門員の自主的、自立的職能団体の確立のための研修会などの開催
- 3) 各地域の介護支援専門員協会が行う自主的な活動を支援
- 4) 介護支援専門員の社会的地位の確立
- 5) 介護保険の円滑な実施とサービスの向上に寄与すること

## 平成25年度活動内容

### 1) 協会の運営

- ① 総会の開催 年1回
- ② 理事会 8回
- ③ 相談窓口の設置 随時

### 2) 組織強化

- ① 新規会員の獲得、未加入地域の入会促進
- ② 各地域協議会と連携し介護支援専門員の支援体制を強化
- ③ 日本介護支援専門員協会及び九州・沖縄ブロックとの連携
- ④ 事務局体制の整備

### 3) 研修・広報

- ① グループスーパービジョン（事例検討チーム）学習会
- ② 介護支援専門員試験受験対策講座
- ③ 介護支援専門員全国統一模擬試験
- ④ 主任介護支援専門員研修
- ⑤ 実務従事者基礎研修法定研修
- ⑥ その他介護支援専門員の資質向上に関する研修
- ⑦ 広報誌の発刊、OBS ラジオ出演

#### 4) 他団体との連携

大分県をはじめ、各種団体が行う会議等へ職能団として参画し、介護支援専門員の立場から積極的に意見や提言を行ってきました

連携先団体名

- ・大分県難病医療連絡協議会
- ・大分県在宅歯科診療検討部会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・大分県認知症施策推進会議
- ・大分県老人福祉計画策定協議会
- ・大分県在宅医療連携委員会
- ・大分県脳卒中回復期・維持期等地域連携推進協議会
- ・大分県地域保険協議会
- ・大分大学福祉科学講座実行委員会
- ・脳卒中懇話会
- ・大分県リハビリテーション支援センター 運営委員会
- ・大分県社会福祉介護研修センター 運営委員会及び福祉用具部会
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 運営部役員及び運営部員
- ・大分県歯科医師会 アンケート協力
- ・県地域包括ケア研究会 世話人会
- ・大分県介護ロボット普及促進協議会 委員

介護支援専門員は地域の利用者の自立支援のため日常生活全般における総合的な支援をする“対人援助専門職”であります。それ故に介護支援専門員の職能団体としての組織力をより強化し、県内の介護支援専門員の一人ひとりの意見集約に努め、その役割を十分に担える環境を整備すること、そして、利用者の自立支援に繋がるケアマネジメントに対して高い評価が得られるよう積極的に活動を行うことが非常に重要であると考えられます。今後も行政及び各職能団体の皆様のご理解とご協力を賜り協会運営に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

# (一社) 大分県介護福祉士会

会長 三浦 晃 史



平成25年度	
<p>1. 労働環境の整備促進 (国・県、事業者団体)</p>	<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員処遇改善に関する調査     (日本介護福祉士会…以下、日介)</li> <li>・介護福祉士の専門性とキャリア形成に関する調査 (日介)</li> <li>・介護福祉士を取り巻く環境とニーズに関する調査 (日介)</li> <li>・社会保障審議会介護保険部会委員派遣 (日介)</li> <li>・社会保障審議会介護給付費分科会委員派遣 (日介)</li> <li>・他専門職との連携強化《地域リハ研究会》     《食リハ研究会》等 (大分)</li> <li>・関係団体との連携・協力 (日介)</li> </ul>
<p>2. キャリアアップの仕組み (国・県、事業者団体)</p>	<p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯研修制度の充実 (日介)</li> <li>・介護人材養成のための効果的なキャリアアップの仕組みに関する調査 (日介)</li> <li>・認定介護福祉士制度の構築 (日介)</li> <li>・九州ブロック研修大会 in ふくおか (10月・福岡県)</li> <li>・キャリアパス研修会の開催4回 (大分) <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回平成25年7月6日(日)(78名) 「介護福祉士としてのケアプラン」</li> <li>～地域包括ケアにおける介護福祉士の役割とは～</li> <li>第2回平成25年10月13日(日)(61名) 「認知症について」</li> <li>第3回平成25年12月22日(日)(67名) 「介護力の向上について」</li> <li>第4回平成26年1月12日(日)(51名) 「福祉用具の活用について」</li> <li>「デイサービスセンターの自立支援について」</li> </ul> </li> <li>・介護学会           山形県にて開催</li> <li>・全国大会 (日介) 鳥取県にて開催</li> </ul>

<p>3. 福祉・介護サービスの周知・理解 (国・県、事業団体)</p>	<p>3. ・一般に向けた介護教室 (大分)          チャレンジ介護教室 南大分中学校          // 植田東小学校          // 大分西中学校          // 豊府小学校</p> <p>出前介護教室 コープ南大分教室          明星ビューティカレッジ 教室</p> <p>・研修センター事業福祉の心醸成事業への講師派遣          出席講師人数 20 名 (大分)</p>
<p>4. 潜在的有資格者の参入の促進等 (国・県、事業団体、福祉人材センター等)</p>	<p>4. 潜在的有資格者を対象とした研修会の実施          再就職応援セミナー          平成 25 年 11 月 10 日 (大分) (9 名)</p>
<p>5. 多様な人材の参入・参画の促進 (国・県、事業団体、福祉人材センター等)</p>	<p>5. ・実習指導者養成研修の実施          ・ヘルパー 2 級資格取得講座講師派遣          ・介護福祉士国家模擬試験          ・実技試験受験準備講習会</p>
<p>6. その他</p>	

平成26年度	
<p>1. 労働環境の整備促進 (国・県、事業者団体)</p>	<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従前通り各種委員会への委員派遣</li> <li>・他専門職との連携強化《地域リハ研究会》 (大分) 《食リハ研究会》 《排尿リハ研究会》 《地域包括ケア研究会》等</li> </ul>
<p>2. キャリアアップの仕組みの構築 (国・県、事業者団体)</p>	<p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定介護福祉士制度の確立 (日介)</li> <li>・生涯研修制度の確立 (日介)</li> <li>・介護学会・全国大会 (日介)</li> <li>・研修会 (大分)</li> </ul>
<p>3. 福祉・サービスの周知・理解 (国・県、事業者団体)</p>	<p>3.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般に向けた介護教室の実施 (大分)</li> <li>・研修センター事業福祉の心醸成事業への講師派遣 (大分)</li> </ul>
<p>4. 潜在的有資格者の参入の促進等 (国・県、事業者団体、福祉人材センター等)</p>	<p>4.</p> <p>潜在的有資格者を対象とした研修会の実施 再就職応援セミナー 平成26年10月10日・14日開催</p>
<p>5. 多様な人材の参入・参画の促進 (国・県、事業者団体、福祉人材センター等)</p>	<p>5.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導者養成研修の実施</li> <li>・ヘルパー2級資格取得講座講師派遣</li> <li>・介護福祉士国家模擬試験</li> <li>・実技試験受験準備講習会</li> </ul>

＜平成26年5月1日現在 当会 会員数 1370名＞

# (公社) 大分県看護協会

会長 松原 啓子



## 1. 大分県看護協会の現状

- 1) 会員数は8,957名。(平成26年3月31日現在)
- 2) 看護職の資質向上のための教育・研修、看護職が働き続けられる環境づくり、ニーズに応える看護領域の開発・展開など8つの事業を行うことにより、時代の変化と人々のニーズにあった安全で質の高い看護の提供をめざし、地域社会に貢献している。
- 3) 事業は、常任委員会(11)・特別委員会(2)の13委員会および県下を下記9地域に分けた地区活動により展開している。  
①国東地区 ②別府・杵築・日出地区 ③大分地区 ④臼杵・津久見地区 ⑤由布地区 ⑥豊後大野・竹田地区 ⑦中津・宇佐・豊後高田地区 ⑧佐伯地区 ⑨日田・玖珠・九重地区  
\*地区活動: DVDの教材提供(新人看護技術研修・医療安全・感染予防等)、看護の日事業(ふれあい看護体験等)、看護の集い、研修連携のための事業を実施

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 〈県民の健康づくりの活動〉

- 1) げんき教室 毎月第4水曜日 14:00~15:30 於) 大分県看護研修会館 高齢者対象

月	テーマ	講師	人数
4月	笑って元気	渡辺 陽子	79人
5月	お腹まわりすっきり体操1	伊藤千奈美	85人
6月	お腹まわりすっきり体操2	伊藤千奈美	105人
7月	熱中症にならないために	中尾 和恵	81人
8月	寸劇「認知症ケアあれこれ〜ビフォーアフター」	加藤病院	77人
9月	自分の体を知ろう	有賀美枝子	88人
10月	脳卒中にならないために!	永富脳神経外科病院	67人
11月	インフルエンザ感染症・ノロウイルス	鎌田 善子	55人
12月	筋力アップで元気づくり1	伊藤千奈美	81人
1月	筋力アップで元気づくり1	伊藤千奈美	96人
2月	歯っぴー健口づくり	甲斐 智子	68人
3月	おいしく食べる健康アップな食事のコツ	溝邊 淑子	86人

平成25年度 皆勤賞…11名

- 2) 「まちの保健室」開催

①大分市生活文化展での「まちの保健室」開催 5日間(10/5.6.12.13.14)

於) 城址公園 測定・指導人数 延4,172人

※血圧・体脂肪測定・血管年齢測定・スモーカーライザー・乳がんモデル

- ②「人とみどりふれあいいち」での健康相談 2日間(4/20・4/26)  
 於) 平和市民公園 ※血圧・体脂肪測定、健康相談 測定・指導人数 延 48人
- ③大分県立図書館でまちの保健室開催(新規) 1日(11/12)  
 於) 大分県立図書館 ※血圧・体脂肪測定、健康相談 測定・指導人数 延 85人
- ④「げんきフェア」 (10/13)  
 於) ソレイユ 主催：大分県保健医療団体協議会 10団体  
 ※血圧・体脂肪、健康相談 測定・指導人数 延 15人
- ⑤ふれあいフェスタ 1日(11/17) 於) 大分県身体障害者福祉センター  
 ※血圧・体脂肪・血管年齢測定、健康相談 測定・指導人数 延 99人
- ⑥スポーツクラブ・ルネッサンス大分での健康相談開催(新規)  
 10日(5/13.20、6/10.24、7/8、9/9.30、10/7.21.28) 指導人数 延 139人
- ⑦大分合同新聞社文化講演会“萌”での健康相談 1日(5/24)  
 於) オアシス ※血圧・体脂肪測定、健康相談 測定・指導人数 75人
- ⑧大分県社会福祉介護研修センター20周年記念行事で健康相談開催 1日(11/10)  
 於) 大分県社会福祉介護研修センター  
 ※血圧・体脂肪測定・血管年齢測定、健康相談 測定・指導人数 延 143人
- 3) 大分県スポーツ学会認定スポーツ救護講習会 (大分県スポーツ学会と共催)  
 3日コース・2回実施 前期(3~5月)：97人、後期(8~10月)：119人 受講者延 547人  
 大分県内のイベントやスポーツ救護などの要請に協力  
 スポーツ救護ナースの登録者：看護協会員 144人、非会員 60人
- 4) 「看護の日・看護週間」事業 (看護フォーラム)  
 テーマ「安心して暮らし続けられる地域に向けて」  
 日時：平成25年5月12日(土) 13:00~16:00 参加者 150人  
 特別講演：演題「地域包括ケアの実現に向けた看護からの提案」  
 講師 東北大学 助教 田口敦子氏  
 シンポジウム：「地域包括ケア推進に向けた看護職の役割」  
 発表者：大分県高齢者福祉課、宗像訪問看護ステーション管理者  
 杵築市、県豊後高田保健部、豊後大野市(モデル事業)  
 (ふれあい看護体験)  
 大分県下9地区で実施 平成25年度… 86施設に471名の高校生が参加  
 ※助産師 保健師体験希望の高校生が増えている

#### <教育・研修事業等>

協会内で行う主な事業として、看護職の資質向上のための研修事業があり、平成25年度は、年間166研修・延411日実施し、受講者数は延18,730人。



1) リハビリテーション関連研修は下記のとおり実施。

リハビリ関連研修

於) 大分県看護研修会館

	研 修 名	① 開催日・人数		② 開催日・人数	
1	呼吸理学療法	1/21	16	3/9	32
2	摂食・嚥下障害患者の看護	7/16	88	11/10	18
3	回復期リハビリテーションと看護師の役割	11/17	15	2/25	13
4	高齢者の転倒転落防止	6/29	51	11/5	51
5	高次脳機能障害の理解と看護	10/27	23	3/11	29
6	排泄ケア (ウオストミ・オストミ)	11/26	19	1/25	31
7	褥瘡ケア	9/8	91	11/18	63
8	エビデンスに基づいた口腔ケア	9/9	47	2/22	23
9	在宅看護：褥瘡の管理	8/17	39	1/23	15
10	在宅看護：自立に向けたリハビリ	10/17	24	3/22	14
11	在宅看護：治す医療から支える医療へ 他職種との連携	8/28	59	-	

2) 大分県地域リハビリテーション研究会

- ・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会 平成 25 年 10 月 27 日 (日)  
病院等の看護職および看護協会から 7 名参加
- ・運営部会に担当者 4 回出席

3) 大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会 平成 25 年 7 月 21 日 (日)

病院等の看護職および看護協会から 1 名参加

4) 大分県地域リハビリテーション広域支援センター協議会 (大分)

平成 25 年 3 月 5 日 (水) 担当理事出席

3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成 26 年度 地域リハ関連の活動・取り組み

<県民の健康づくりの活動>

- 1) げんき教室 12 回開催
- 2) 「まちの保健室」開催 6 種類の保健室開催予定 (H25 年度①～⑥と同様)
- 3) 大分県スポーツ学会認定スポーツ救護講習会 (大分県スポーツ学会と共催) 1 回
- 4) 「看護の日・看護週間」事業 (看護フォーラム)

日 時：平成 26 年 5 月 11 日 (日) 13:20～16:00

テーマ「安心して暮らし続けられる地域に向けて」

<特別講演>

演題：「地域住民にぜひとも聴いていただきたい宅老所のはなし」

講師：宅老所・グループホーム全国ネットワーク 代表 惣万佳代子氏

### <シンポジウム>

テーマ：「在宅生活を支えるために」

発表者：行政の立場から（大木治郎）訪問看護ステーションの立場から（小野朱美）、ヘルパーステーションの立場から（米田崇子）、家族の立場から（中野孝子）

### <教育・研修事業等>

#### 1) リハビリテーション関連研修

①リハビリ関連研修を継続し、看護職の資質向上を図る 12 研修実施予定

②在宅での療養者のための訪問看護等に関する事業を強化

県民が最期まで安心して在宅療養が送れるようにリハビリを含む質の高い訪問看護サービスが実施できるよう取り組む。教育機関として、学生の訪問看護実習を受け入れ。

#### 2) 大分県地域リハビリテーション研究会への参画

#### 3) 大分県地域リハビリテーション広域支援センター協議会（大分）に出席

# (公社) 大分県言語聴覚士協会

会長 平岡 賢



## 1. 会の現状

- 1) 会員数及び施設数(平成 26 年 6 月 1 日現在)  
会員数：275 名 ※約 7 割が大分、別府に集中している  
施設数：98 施設
- 2) 構成：  
事務局（総務部、事業部、財務部）  
社会局（広報部、地域連携部）  
学術局（学術研究部、教育研修部、小児研修部、通所訪問部）  
委員会（地域包括ケア委員会、災害時対策委員会）  
特別委員会（全国研修会準備委員会、九州地区学術集会委員会、公益社団法人準備委員会）

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

- 1) 言語障害友の会「なし会」関連
  - ①第 11 回総会・なし会春の行事  
日 時：平成 25 年 5 月 19 日（日）  
場 所：メルサンホール（玖珠）  
参加者：50 名  
内 容：なし会総会、花見
  - ②なし会忘年会  
日 時：平成 25 年 12 月 1 日（日）  
場 所：別府パストラル  
参加者：39 名  
内 容：レクリエーション・交流会・食事会
  - ③各ブロック会の開催及び参加  
回 数：1～2 ヶ月に 1 回程度（各ブロック会にて決定）  
内 容：会員間及び家族間の情報交換、食事会
- 2) げんきフェアへの参加  
日 時：平成 25 年 10 月 13 日（日曜日）9 時～13 時  
目 的：言語聴覚士、他の医療職種の啓発活動  
方 法：全労済ソレイユ 7 階 公開講座、ブース展示、各種体験コーナー
- 3) 大分県地域リハビリテーション関連
  - ①大分県地域リハビリテーション研究会  
日 時：平成 25 年 10 月 27 日（日）  
場 所：別府ビーコンプラザ 国際会議室
  - ②第 9 回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同  
研修会への協力  
日 時：平成 25 年 7 月 21 日（日）  
場 所：別府ビーコンプラザ 国際会議室
- 4) おおいた食のリハビリテーション研究会  
（社）大分県栄養士会、（社）大分県歯科衛生士会、（社）大分県介護福祉士会、  
（社）大分県言語聴覚士協会
  - ① 第 9 回研修会合同開催

5) 歳児発達相談会への派遣

- 1)中津市        ～     派遣回数 4回
- 2)豊後竹田市   ～     派遣回数 3回
- 3)由布市        ～     派遣回数 1回

(健診事業への派遣)

- 1)宇佐市        ～     派遣回数 2回

(巡回相談への派遣)

- 1)由布市        ～     派遣回数 1回

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成26年4月1日、大分県より公益社団法人として認定を受け、ますます、地域社会へ貢献していきたいと思えます。以前から希望していました、地域ケア会議（杵築市）にアドバイザーとして参加する事ができ、アドバイザー育成が早急な課題となっています。また、災害時に対する他団体との組織作りや、県民に向けた講演会などを企画し、言語・聴覚・嚥下障害に対する理解を促していきたいと考えています。さらに、言語障害友の会「なしかい」や高次脳機能障害家族会への協力・側方支援、およびボランティア活動として、地域でのコミュニケーションパートナーの支援・育成、啓発などの活動を推進していきます。

# (公社) 大分県作業療法協会

会長 高森 聖人



## 1. 会の現状 (H26. 3. 31 現在)

圏域	支部名	会員数	施設数	圏域	支部名	会員数	施設数
中部圏域	大分西支部	232	42	北部圏域	中津支部	38	16
	大分東支部	132	34		宇佐高田支部	54	11
	臼津支部	16	5	豊肥圏域	大野支部	31	9
東部圏域	別杵速見支部	114	36	南部圏域	竹田支部	27	6
	国東支部	16	6		佐伯支部	56	12
西部圏域	日田玖珠支部	31	12		自宅会員	36	-----
計						783	189

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### 啓発・普及事業

#### 1) 作業療法一日体験

H25. 7～8 / 会員所属施設 52 施設 [参加者] 県内高校生 168 名  
内容：作業療法体験，見学など

#### 2) 作業療法フェスタ 2013

H25. 8. 18(日) / イオン パークプレイス大分店 [参加者] 約 500 名  
内容：作業療法(士)に関するクイズ，親子・子ども作業療法体験，福祉用具体験・展示，リハ・認知症相談，パンフ配布等

#### 3) 「リレー・フォー・ライフ 2013 in 大分」参加

H25. 9. 14(土)～15(日) / 大分スポーツ公園大芝生広場  
[参加者] 83 名 (会員 37 名，家族・作業療法学生等 46 名)

#### 4) 「王子西南地区サロン」への作業療法出張講座

テーマ「日々の活動の大切さを考えようー今日からできる脳卒中の予防ー」  
H25. 9. 20(日) / 大分西部公民館 [参加者] 28 名  
内容：脳卒中・認知症の予防に関する講座，作業療法・作業活動の紹介

#### 5) 『作業療法の日』リハビリテーション相談窓口

H25. 9. 22(日) / 大分県作業療法協会ビル  
内容：リハ・認知症相談，OT進路相談，パンフ配布等

#### 6) 作業療法ミニフェスタ in 日田「第 17 回市民健康福祉まつり」

H25. 10. 6(日) / パトリア日田 [体験者] 約 160 名  
内容：作業活動体験 (フラッグ・プラ板作成)，リハ・認知症相談，パンフ配布等

#### 7) 「第 14 回大分県保健医療団体協議会げんきフェア」作業療法コーナー設置

H25. 10. 13(日) / 大分県労働福祉会館ソレイユ [参加者] 約 100 名  
内容：作業療法(士)に関するクイズ，リハ相談，パンフ配布等

#### 8) 「大分大学開放イベント 2013」特別講演企画・作業療法コーナー設置

H25. 11. 4(月) / 大分大学第一大講義室 [参加者] 約 150 名

①特別講演「はじめよう，続けよう，生き生き自分生活」  
～人は「作業」することで元気になれる～

講師：中村春基 ((一社) 日本作業療法士協会 会長)

②作業療法コーナー

作業活動体験 (フラッグ・プラ板作成)，リハ・認知症相談，パンフ配布等

- 9) 作業療法ミニフェスタ in 三重「ふるさとまつり」  
 H25. 11. 10(日)／大原総合体育館 〔体験者〕約 100 名  
 内容：作業活動体験（フラッグ作成），リハ・認知症相談，パンフ配布等
- 10) 「大分県社会福祉介護研修センターまつり 2013」作業療法コーナー設置  
 H25. 11. 10(日)／〔体験者〕約 70 名  
 内容：作業活動体験（フラッグ・プラ板作成），リハ・認知症相談，パンフ配布等
- 11) 「春日まつり」作業療法コーナー設置  
 H25. 11. 24(日)／大分市立王子中学校体育館 〔体験者〕約 100 名  
 内容：作業活動体験（フラッグ作成），リハ・認知症相談，パンフ配布等

#### 研修会等

- 1) 地域ケア会議助言者養成道場  
 ①H25. 7. 16(火)，②H25. 7. 30(火)／大分県作業療法協会ビル 〔参加者〕22 名  
 内容：講義，演習（グループワーク），課題発表，総括
- 2) 第 31 回研修会  
 テーマ「生活行為向上マネジメント」  
 H25. 10. 6(日)／大分県消費生活・男女共同参画プラザアイネス 〔参加者〕64 名  
 講師：佐藤友美（介護老人保健施設健寿荘 作業療法士）
- 3) 学術技能研修会VI  
 テーマ「認知症初期集中支援チームに対応するOTに求められること」  
 H25. 11. 3(金)／大分県消費生活・男女共同参画プラザアイネス 〔参加者〕89 名  
 講師：小川敬之（九州保健福祉大学教授・作業療法士）
- 4) 地域ケア会議助言者情報交換会  
 H25. 12. 16(月)／大分県作業療法協会ビル 〔参加者〕24 名  
 内容：講義，活動報告，意見交換，総括
- 5) 第 3 回訪問リハビリテーション研修会  
 (大分県理学療法士協会・作業療法協会・言語聴覚士協会合同研究会主催)  
 H26. 1. 26(日)／明日香美容文化専門学校 〔参加者〕70 名（うち当協会会員 28 名）  
 内容：①講演「ケアに活かす環境づくり」  
 ～インテリアリハビリテーションの視点で考える～  
 講師：池田由里子（(株)リハブインテリアズ代表取締役・理学療法士）  
 ②ロールプレイ「在宅における多職種連携のあり方」  
 ～こんなセラピスト見たことありませんか？～  
 ③講演「訪問リハにおけるリスク管理」  
 講師：二宮富美  
 （へつぎ訪問看護ステーションひ・まわり訪問看護認定看護師）
- 6) 第 17 回大分県作業療法学会  
 テーマ『創造～まちづくりから広がる作業療法の可能性～』  
 H26. 2. 2(日)／ビーコンプラザ国際会議室他 〔参加者〕227 名  
 特別講演「地域と作業とまちづくり」  
 講師：西上忠臣（特定非営利活動法人ちゃんくす 代表）  
 講演Ⅰ「大分県における地域包括ケアシステムの取り組みについて」  
 講師：田井祐二（大分県福祉保健部高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 主事）  
 講演Ⅱ「地域ケア会議における作業療法士の役割とは」  
 講師：佐藤 暁（井野辺病院）  
 講演Ⅲ「大分県作業療法協会広報局のまちづくりへの取り組み」  
 講師：平野政治（明和記念病院）

## 人材派遣等

- 1) 市町村の地域ケア会議等への助言者及び広域支援員の推薦・派遣
  - (1) 大分県地域ケア会議多職種派遣事業に係る助言者の推薦・派遣  
派遣先：豊後高田市，杵築市，豊後大野市，臼杵市，津久見市，別府市，由布市，国東市，日出町，九重町，中津市，日田市，玖珠町，佐伯市  
派遣者：延べ51名（登録者39名） 派遣回数：159回
  - (2) 大分県地域ケア会議広域支援員派遣事業に係る広域支援員の推薦・派遣  
派遣先：杵築市，中津市，国東市，由布市，玖珠町，九重町  
派遣者：4名 派遣回数：10回  
内容：研修会講師，模擬ケア会議助言者，地域ケア会議への助言等
  - (3) 地域ケア会議多職種派遣事業調整会議  
①H25. 6. 12(水)，②H25. 10. 2(水)／湯布院厚生年金病院
  - (4) 地域ケア会議多職種派遣事業成果報告会  
(大分県リハビリテーション支援センター主催)  
H26. 2. 15(土)／ビーコンプラザ中会議室
  - (5) 地域ケア会議の専門職種派遣に係る調整会議  
①H26. 1. 21(火)，②H26. 2. 24(月)／大分県庁舎
- 2) 市町村等の介護認定審査会委員の推薦  
新規推薦：宇佐市5名
- 3) 豊後高田市乳幼児障がい早期ケア事業への人材派遣  
①H25. 5. 24(金)，②H25. 9. 20(金)，③H26. 1. 24(金)，④H26. 3. 7(金)  
場所：豊後高田市健康交流センター 花いろ
- 4) 大分県市町村介護予防支援委員会運動機能向上専門部会  
市町村介護予防二次予防強化事業
  - (1) 津久見市  
①H25. 6. 18(水)／津久見市社会福祉協議会  
講義「運動機能・生活機能評価について」  
②H25. 6. 27(木)／とき倶楽部  
内容：事前カンファレンスアドバイザー
  - (2) 別府市  
①H25. 7. 29(火)／別府市役所  
講義「生活行為向上マネジメントと運動機能・生活機能評価について」  
②H25. 8. 19(火)／別府市役所  
内容：事前ケースカンファレンス アドバイザー  
③H25. 11. 26(水)／別府市役所  
内容：事業評価会議 アドバイザー
- 5) 平成25年度地域包括支援センター現任者研修（大分県主催）  
テーマ：アセスメントの重要性とその手法について学ぶ  
H25. 8. 28(水)／ホルトホール大分大会議室  
講義「生活機能向上マネジメント」
- 6) 杵築市介護予防現任研修会
  - (1) 研修検討会議  
①H25. 8. 30(金)，②H25. 11. 12(火)／大分県庁舎
  - (2) テキスト作成  
内容：認知機能のアセスメント（大分県言語聴覚士協会と共同作成）
  - (3) 研修会への講師派遣  
H26. 1. 15(水)～2. 23(日)／杵築市健康推進館，山香庁舎大会議室  
派遣者：6名（全17回）

- 7) 竹田市介護予防強化推進事業専門職研修会  
H25. 9. 27(金)／竹田市総合社会福祉センター
- 8) 介護職員現任者研修への講師派遣（大分県社会福祉介護研修センター主催）  
①H25. 11. 6(水), ②H25. 11. 27(水), ③H25. 12. 19(水), H26. 1. 23(水)  
場所：大分県社会福祉介護研修センター  
内容：自立支援型のケアについて・分野別研修 生活機能向上
- 9) 平成 25 年度第 4 回介護予防支援従事者研修会（大分県南部保健所主催）  
H25. 11. 20(水)／佐伯市保健福祉センター和楽
- 10) 大分県介護支援専門員医療・介護連携研修（大分県主催）  
テーマ：アセスメントの重要性とその手法を学ぶ  
講義「生活機能向上マネジメント」  
①H25. 12. 1(日)／健康交流センター花いろ  
②H25. 12. 23(月)／臼杵商工会館  
③H26. 1. 13(月)／ビーコンプラザ  
④H26. 2. 16(日)／ホテルますの井
- 11) 津久見市地域ケア会議活用推進等事業  
(1) 介護予防二次予防強化事業に係る通所介護事業への助言  
①H25. 12. 13(金), ②H26. 1. 24(金), ③H26. 3. 14(金)／とぎ倶楽部  
(2) 地域包括ケア会議通所部会研修会  
①H25. 12. 20(金), ②H26. 2. 6(木)／津久見市ふれあい交流センター
- 12) 平成 25 年度大分県言語聴覚士協会特別講演  
H25. 5. 12(日)／別府リハビリテーションセンター  
講演「地域包括ケアシステムにおけるセラピストの役割」

## その他

- 1) 広報誌「伝 DEN」の発行  
No. 9 (H25. 4), No. 10 (H25. 7), No. 11 (H26. 1) 各 2,300 部発行  
県内市町村, 県内高等学校, 地域包括支援センター, 会員所属施設,  
(一社)日本作業療法士協会, 九州各県士会などに発送
- 2) 関連諸団体との連携
- \*大分県老人福祉計画策定協議会 委員
  - \*大分県リハビリテーション協議会 委員
  - \*大分県介護予防市町村支援委員会 委員（運動機能向上専門部会）
  - \*大分県社会福祉介護研修センター 運営委員  
（福祉用具委員会, 大分県介護ロボット普及促進協議会）
  - \*大分県リハビリテーション支援センター連絡協議会 委員
  - \*地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会 委員
  - \*大分県高次脳機能障がい相談支援体制連携調整委員会 委員
  - \*大分県障がい者体育協会ジュニア育成委員会 委員
  - \*大分県リハビリテーション医学会 理事
  - \*大分県地域リハビリテーション研究会 会員
  - \*大分県脳卒中懇話会 世話人
  - \*大分県保健医療団体協議会 会員
  - \*大分県高次脳機能障がい連絡協議会 会員
  - \*大分県地域包括ケア研究会 世話人
  - \*（一社）大分県スポーツ学会 理事, 人材育成委員, 賛助会員
  - \*大分県排尿リハビリテーション・ケア研究会 世話人
  - \*大分県障害児スポーツ活動連絡会議 委員
  - \*第 17 回大分大学福祉フォーラム 実行委員
  - \*日本脳外傷友の会 第 13 回全国大会 実行委員



### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

平成 25 年度は、大分県並びに県下各市町村の地域包括ケアシステムの構築に向けた様々な取り組みに対し、第 2 期長期活動計画（平成 25～34 年度）に基づき、地域ケア会議の助言者や広域支援員の推薦・派遣、介護予防事業等への講師等の派遣を積極的に行った。こうした人材の推薦・派遣に関しては、新たな人材の確保・育成、並びに質の担保が喫緊の課題であり、地域ケア会議の助言者については地域ケア会議助言者養成道場や情報交換会を新規に行ったところである。

また、例年実施している作業療法フェスタと大分市春日地区の「春日まつり」、豊後大野市の「ふるさとまつり」に加え、平成 25 年度は日田市の「市民健康福祉まつり」において作業療法ミニフェスタを開催し、作業療法の普及啓発と県民の保健・医療・福祉の増進に資するための事業をより広域で展開することができた。さらに、「大分大学開放イベント 2013」に関わる機会を得たので、特別講演及び作業療法コーナー設置により大学生や一般来場者に広報することができた。

今後、ますます多様化する地域からの期待に職能団体として応えられるよう研鑽を積むとともに、人材の確保・育成、資質の向上を図り、より県民の身近なところで活動できるよう努めていく。

# (社) 大分県歯科医師会

会長 長尾博通



## 1. 会の現状

会員数：628名（平成26年5月現在）

地域福祉委員会が介護保険、高齢者・障がい者歯科保健、在宅歯科医療、医療連携の関連分野を担当し活動を行っています。

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### \* 高齢者のよい歯のコンクール

口腔の衛生管理に努力し80歳で20本以上自分の歯を保持している健康な方を表彰することで、口腔の健康の重要性を県民にアピールしています。

昨年度の第20回高齢者のよい歯のコンクールでは優秀賞5名、優良賞9名を選出し表彰しました。

### \* 老人保健施設訪問歯科保健事業

老人保健施設・福祉施設を大分県歯科衛生士会と大分県歯科技工士会と共に訪問し、歯科医師による口腔内検診、歯科衛生士による歯科保健指導や口腔ケア、歯科技工士による義歯のネーム入れを行います。また、施設関係者と入所者の口腔衛生管理の問題点を話し合います。25年度は、豊後高田市の「特別養護老人ホーム真寿苑」を訪問しました。

### \* 障がい者施設訪問歯科保健事業

障がい者施設を大分県歯科衛生士会と共に訪問し、歯科医師による口腔内検診、歯科衛生士による「お口の健康体操」などの歯科保健指導や口腔ケアを行います。25年度は、宇佐市の「大分県糸口厚生園」を訪問しました。

### \* 介護保険対応歯科保健研修会の開催

介護の中での歯科保健を視野に入れた講演会を開催しています。会員だけでなく介護施設にも案内状を送っており、口腔ケアの普及啓発を行っています。25年度の研修会は、東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座の会田薫子先生に「高齢者の終末期ケア・人工栄養」についてご講演いただきました。

### \* 障がい者歯科保健研修会の開催

会員や障がい者施設職員に対して、口腔ケアの知識の習得や障がい者歯科医療のネットワークづくりを目的として開催しています。25年度の

研修会は、神奈川県開業医の芳賀デンタルクリニック院長芳賀定先生をお招きし「障がい者施設等で口から始まる健康づくりとQOLの向上、障がい児者のより良い口腔機能をめざした包括的口腔管理の重要性」という演題でご講演をいただきました。

\*各種委員会、協議会、研修会への参加

- ・大分県リハビリテーション協議会
- ・大分県リハビリテーション研究会
- ・大分県介護予防市町村支援委員会
- ・豊の国8020運動推進協議会
- ・大分県在宅歯科診療検討部会
- ・大分県障がい児・者歯科保健検討部会
- ・大分県医療計画策定協議会 等

### 3. 地域リハ活動における課題、今後の展開

昨年度、介護支援専門員協会の協力により「介護支援専門員への口腔衛生管理アンケート調査」を実施しました。調査結果報告書の中で、多くの介護支援専門員が窒息や誤嚥性肺炎を発症し重篤になった利用者を経験しており、利用者が誤嚥性肺炎を起こすことは稀ではないということが報告されました。また、利用者の歯科に対するニーズは非常に多く、多岐にわたっていました。今後ますます増加する高齢者への歯科医療、口腔ケアのニーズに対応するために在宅歯科医療の窓口を明確化し対応することが、本会の取り組むべき課題と考えます。

25年の12月に歯科保健条例「大分県・歯と口腔の健康づくり推進条例」が制定されました。この中にはヘルスプロモーションの理念に基づき、県民が生涯にわたり必要な歯科保健サービスを円滑に受けられる環境を整備するなどの理念が、掲げられています。この条例や医療計画に基づき本会与行政が密な連携をとり、要介護者、障がい者そしてライフステージごとの歯科保健対策を推し進めてまいります。

# (一社) 大分県歯科衛生士会

会長 有松ひとみ



## 1. 会員数 222名 (平成26年5月現在)

支部 県南地区 (佐伯、津久見、臼杵)	22名
豊肥地区 (竹田、豊後大野)	18名

## 2. 地域リハ関連の取り組み

### I 主催事業：第2回九州歯科衛生士研究大会 参加人数 延べ255名

日時：平成26年1月25日26日 場所：ホルトホール大分

ー歯科衛生士の明日を拓くー「健ロイノベーション」

～診療室から地域へ シームレスマインドの醸成～

### II 主催研修会

- ①地域包括ケア研修会「大分県における地域ケア包括システム推進について」 5/11
- ②地域歯科保健研修会「咀嚼と脳科学の関連性とは」 6/30
- ③リフレッシュ研修会「診療室のチーム力、パワーアップ」 7/28
- ④口腔ケア研修「診療室からの口腔ケアー摂食嚥下障害に対する訓練法」 8/18
- ⑤歯周病研修会「TBIは動機付けで決まる  
～デンタルプラークが血管プラークに変わるまで～」 9/29
- ⑥言語聴覚士との合同研修会「語ろう！食べることへの支援ネットワーク  
～お互いを知ろう！DHって何？STって何？」 12/15
- ⑦大分県委託口腔保健推進事業 研修会  
「栄養リハビリテーションの考え方」 2/11
- ⑧歯周病研修会「歯周病へのアプローチ」 2/23
- ⑨障がい者研修会「発達障がい者(児)の歯科受診におけるコミュニケーション」  
ー視覚支援カードの作成ー 3/9

### III 後援・協力研修会

- ①第10回大分県リハビリテーション支援センター  
大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会 7/21
- ②第13回14回おおいだ食のリハビリテーション研究会研修会 7/14 3/2
- ③大分県保健医療団体協議会 第14回元気フェア 10/13
- ④大分地域リハビリテーション・ケア研究会研修会 10/27
- ⑤大分県地域包括ケア推進大会 11/2
- ⑥TOS子育て博覧会 11/3
- ⑦大分県健康フェスタ 11/9
- ⑧大分県介護研修センター20周年記念イベント 11/10

### IV 講師派遣【抜粋】

- ①障がい児(者)施設含む県内市町村の母子事業及び地域支援事業

- ②大分県域介護予防事業及び口腔機能向上教室
- ③大分県社会福祉介護研修センターでの摂食・嚥下セミナー及び介護教室
- ④中部圏域地域リハビリテーション広域支援センター研修会
- ⑤大分県職能団体 教育研修会

#### V 会議出席【抜粋】

- ①地域リハビリテーション関係
  - ・大分県地域リハビリテーションセンター広域支援センター  
(北部、東部、中部、豊肥、南部県域)
  - ・大分県地域リハビリテーション研究会 役員会 運営委員会
- ②行政関係
  - ・大分県 8020 運動推進協議会
  - ・大分県口腔機能向上栄養専門部門部会
  - ・大分県介護予防市町村支援委員会
  - ・大分市及び別府市母子保健小委員会
  - ・各保健所地域在宅歯科診療検討協議会
  - ・各保健所地域歯科保健検討会
  - ・大分県地域包括ケア関連会議
    - 1) 大分県地域ケア会議多職種派遣事業調整会議
    - 2) 大分県杵築市介護予防現任者研修検討会
    - 3) 大分県介護支援専門員医療介護連携研修会会議
- ③その他
  - ・大分県災害支援ボランティアネットワーク連絡協議会
  - ・市町村災害ボランティアネットワーク会議

#### VI 大分県歯科医師会(協力) 高齢者・障がい者訪問事業

- ①平成 25 年 6 月 2 日 歯の健康ひろば (大分市)
- ②平成 25 年 8 月 24 日 障がい者施設糸口厚生園 訪問事業 (宇佐市)
- ③平成 25 年 9 月 21 日 特別養護老人施設眞寿苑 訪問事業 (豊後高田市)

### 3. 課題・今後の展開

超高齢社会を迎え地域包括ケアシステム推進の中、大分県域で開始されている地域ケア会議に平成 24 年度から助言者として参加しています。口腔環境整備や摂食嚥下機能を見据えた介入は、地域住民の ADL や IADL に影響し QOL 向上に繋がることを今後も継続して伝えていきたいと考えております。そのためには、チーム医療の一員として協働できる人材育成が課題であります。多くの勤務先である歯科診療所の歯科衛生士の意識を「診療室完結型」から「地域密着型」シフトを目指し、住み慣れた土地で尊厳ある暮らしを支える職種として、県民の健康増進に取り組んでいけるように今後も努力してまいります。

# 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

会長 深見 憲一

## 1 会の現状

会員センター・・・63センター

- ・地域包括支援センター・・・46センター
- ・在宅介護支援センター・・・9センター
- ・地域総合相談支援センター・・・8センター

## 2 主な活動、取り組み

### (1) 研修会の開催

#### ① 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター研修会

日時 平成26年3月11日(火) 13:30～15:30

会場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加 35名

内容 ① 講義「島原市における地域包括ケアシステムの構築  
～高齢者を地域で支える拠点をめざして～」  
長崎県地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長  
島原市地域包括支援センター 所長 辻 敏子 氏

#### ② 地域総合相談支援センター相談員等研修会

##### 【対人援助技術編】

日時 平成26年2月18日(火) 10:00～15:30

会場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加 28名

内容 講義・演習「～ここに寄り添う～『相談面接技術の基本』」  
特定非営利活動法人 日本ソーシャルコーチ協会  
代表理事 富岡 郁雄 氏

##### 【地域住民支援技術編】

日時 平成26年3月1日(土) 10:00～15:30

会場 別府市社会福祉会館 多目的大広間

参加 31名

内容 講義・演習「地域住民と共働するための技術  
～120%成功する『支え・合いの創り方』…教えます!」  
ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏

#### ③ 地域ケア会議と自立支援型ケアマネジメント研修会

日時 平成25年8月6日(火) 10:00～12:00

会場 大分県教育会館研修室201

参加 18名

内容 講義・演習「QOLの向上を目指す利用者主体のケアマネジメントの方法」  
大分大学教育福祉科学部  
大学院福祉社会科学部 教授 衣笠 一茂 氏

④ 悪質商法撃退インストラクター養成研修会

日 時 平成25年11月12日(火) 13:30～16:30  
会 場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール  
参 加 18名

内 容 講義「悪質商法の現状と、その対処法」  
大分県消費生活・男女共同参画プラザ  
消費生活相談指導員 村上 美佳子 氏

(2) ブロック活動

各市町村ブロック組織での研修会や会議等の活動に対する支援。

3 情報提供及び調査研究

(1) 他機関が実施する各種研修会への参加案内

- ①大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会
- ②福祉従事者のための成年後見活用講座
- ③高次脳機能障がい職種別研修会 等

4 関係機関・団体との連携

(1) 県内関係機関・団体との連携

- ①大分県リハビリテーション支援センター拡大運営会議への出席
- ②大分県ボランティア・市民活動センター運営委員会への出席
- ③大分県認知症施策推進会議への出席
- ④大分県介護予防市町村支援委員会への出席

(2) 県との協調・支援

- ①県及び各市町村高齢者福祉担当課あて研修会への参加要請
- ②支援センターの研修等について協議

(3) 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会との協調・支援

- ①「地域包括支援センター職員研修」の受託状況等調査協力
- ②組織活動助成事業の申請
- ③地域包括支援センター職員研修「講師養成研修会」、「講師フォローアップ研修会」への参加要請
- ④メールや電話等による動向把握、連絡調整

5 九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナー

日 時 平成25年11月14日(木)～15日(金)  
会 場 沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ(沖縄県那覇市)  
参 加 237名(9名)

内 容 行政説明「地域包括ケアの推進に向けた地域包括支援センター・在宅介護支援センターの役割について」  
厚生労働省老健局振興課  
地域包括ケア推進官 岡島 さおり 氏

**基調報告** 「地域包括ケアシステムの構築に向けて 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会の課題・あり方と今後の取り組みについて」

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会

会 長 青木 佳之 氏

**講 演** 「地域包括ケアシステムにおける地域ケア会議の目的と機能」

立川市南部西ふじみ地域包括支援センター

センター長 山本 繁樹 氏

**シンポジウム** 「地域ケア会議とネットワーク」

座 長 :

沖縄県地域包括・在宅介護支援センター協議会

会 長 比嘉 達也 氏

コーディネーター :

立川市南部西ふじみ地域包括支援センター

センター長 山本 繁樹 氏

パネリスト :

熊本市西2地域包括支援センター 室 長 徳永 航太 氏

鹿屋市南部地区地域包括支援センター 社会福祉士 濱田 純子 氏

島原市地域包括支援センター 主任介護支援専門員 辻 敏子 氏



# 大分県地域リハビリテーション研究会

会長 武居光雄



## 会の現状

会長：武居光雄 副会長：三浦晃史、平岡 賢 幹事：各団体より代表者1名  
監事：本田昇司、河野俊貴 顧問：犀川哲典、原田禎二 名誉顧問：有田 眞、佐竹孝之  
所属団体：17 団体

大分県地域リハ医師懇話会	(公社)大分県理学療法士協会	(公社)大分県作業療法協会
(公社)大分県言語聴覚士協会	(公社)大分県看護協会	(公社)大分県薬剤師会
(公社)大分県栄養士会	(公社)大分県放射線技師会	(公社)大分県臨床工学技士会
(公社)大分県臨床検査技師会	(一社)大分県歯科医師会	(一社)大分県歯科衛生士会
(一社)大分県介護福祉士会	大分県臨床心理士会	大分県介護支援専門員協会
大分県医療ソーシャルワーカー協会	NPO 大分音楽療法研究会	

## 1. 平成 25 年度 活動報告

### ① 第 10 回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会の開催

日時：平成 25 年 7 月 21 日(日)

会場：別府ビーコンプラザ 国際会議室

参加者：285 名

#### ▶ シンポジウム

テーマ：『地域包括ケアシステムの構築～自立支援に向けた杵築市の取り組み～』

講演：大分県杵築市役所 高齢者支援課 介護保険係長 江藤 修氏

シンポジスト①：杵築市包括支援センター 河野由紀子氏

シンポジスト②：山香居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 佐藤圭子氏

シンポジスト③：ひまわりホームヘルプステーション 西 一美氏

司会：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄

大分県地域リハビリテーション研究会 運営部長 井野邊純一

### ② 第 5 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会交流会の開催

日時：平成 25 年 10 月 26 日(土)

会場：大分オアシスタワーホテル 5 階 孔雀の間

参加者：88 名

### ③ 第 5 回大分地域リハビリテーション・ケア研究大会の開催

日時：平成 25 年 10 月 27 日(日)

会場：別府ビーコンプラザ 3 階 国際会議室、小会議室 31

参加者：252 名

テーマ：『多職種で支える終末期ケア』

(1) 基調講演『終末期ターミナルケアについて =リハビリにできること、望むこと=』

講 師：医療法人カーサミア やまおか在宅クリニック 院長 山岡憲夫先生

司 会：大分県地域リハビリテーション研究会 会長 武居光雄

(2) ディスカッション『多職種で支える終末期ケア』

指定発言：大分県医療ソーシャルワーカー協会 今尾顕太郎氏

(公社)大分県栄養士会 豎山恵子氏

(公社)大分県作業療法協会 徳田幸之介氏

(一社)大分県介護福祉士会 高橋ひとみ氏

NPO 大分音楽療法研究会 安部ゆかり氏

(公社)大分県薬剤師会 堀 哲朗氏

(公社)大分県看護協会 藤原幸恵氏

大分県臨床心理士会 加藤真樹子氏

司 会：大分県医療ソーシャルワーカー協会 井元哲也氏

(公社)大分県看護協会 原 洋子氏

(3) 口述発表(12題)、ポスター発表(8題)

④ 名義後援

平成 25 年度「地域包括ケア広報キャラバン隊」(平成 25 年 6 月 7 日～)

日本脳外傷友の会第 13 回全国大会(平成 25 年 9 月 28 日)

第 31 回大分県病院学会(平成 25 年 11 月 17 日)

⑤ 広報誌の発行

第 20 号：印刷部数 500 部(平成 26 年 3 月 31 日発行)

⑥ 運営部会の開催

第 1 回：平成 25 年 5 月 13 日(月)

第 2 回：平成 25 年 7 月 1 日(月)

第 3 回：平成 25 年 8 月 19 日(月)

第 4 回：平成 25 年 9 月 17 日(火)

第 5 回：平成 26 年 2 月 4 日(火)

⑦ 役員会の開催

第 21 回：平成 25 年 5 月 27 日(月)

第 22 回：平成 26 年 3 月 17 日(月)

2. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域包括ケアシステムの構築及び具体的な運営には、更なる多職種間の相互理解と連携が必要となります。その為にも、多職種間の顔の見える関係作りができるよう、本年度開催予定の大分県地域リハ研究会研修会を充実したものにしたいと考えています。今後も、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築や円滑な運営に向け活動してきたいです。

# (一社) 大分県病院協会

会長 川 篤 眞 人



## I. 会の現状

### 1. 病院協会の現状(H26.3.31 現在)

(1)会員数 128 病院

#### (2)構成

- ・会 長 川 篤 眞 人 (川 篤 整形外科病院)
- ・副会長 松本 文六 (天心堂へつぎ病院)
- ・副会長 畑 洋 一 (畑 病院)
- ・地区毎の理事、及び所属病院数
  - 県北(所属病院数 24) 理事 佐藤仁一、瀧上 茂
  - 別杵(所属病院数 23) 理事 黒木健次、山本記顯
  - 大分(所属病院数 47) 理事 武居光雄、中村太郎、井野邊純一、帆秋善生
  - 久大(所属病院数 20) 理事 山本 亨、後藤憲文
  - 豊肥(所属病院数 4) 理事 大久保 健作
  - 県南(所属病院数 10) 理事 小寺 隆、曾根 勝
- ・監 事 豊田貫雄、長松宜哉
- ・名誉会長 井野邊 義一、顧問 岡 宗由、参与 野口 志郎

## 2. 活動の重点項目

- 1) 医の倫理とリスクマネジメントの高揚
- 2) 各病院の診療機能と質の向上
- 3) 行き届いた患者サービスの向上と慈悲の心、思いやりのある医療を目指す
- 4) 各病院の IT 化と IT ネットワーク情報システムの構築
- 5) 患者中心の院内外連携システムの向上
- 6) 地域リハビリテーションの推進
- 7) 病院機能評価への挑戦と対応
- 8) 各種研修会による全病院職員の質的、能力的向上、責任をもって仕事を遂行する意欲の向上
- 9) 会員相互の切磋琢磨、親睦と信頼性、連帯感の向上
- 10) 被災地への支援の継続と来るべき南海トラフ大地震災害に対して十分に備える医療
- 11) 地域包括ケアシステムの構築
- 12) 活力ある人財を育成
- 13) TQM,BSC などのマネジメントシステムの導入
- 14) インフルエンザ、ノロウィルス、院内感染などの感染予防対策

## II. 活動と取り組み

### A. 病院協会の活動報告

#### (1)平成 25 年度一般社団法人大分県病院協会定時社員総会

- ・開催日時 平成 25 年 6 月 2 日土曜日 午後 2 時
- ・場 所 ホテルサンバリーアネックス 3F サファイア (別府市石垣東 10-1-20)

- ・特別講演 参加者 80 名  
 演 題 「医療機関の消費税と地域一般病棟について」  
 講 師 猪口 雄二先生  
 (公益社団法人全日本病院協会 副会長 ・医療法人財団寿康会 理事長)

(2)理 事 会 計 5 回開催

(3)第 31 回大分県病院学会 実行委員会 計 2 回開催  
 第 31 回大分県病院学会 運営委員会 計 10 回開催

(4)第 31 回大分県病院学会

- ・学会テーマ 「一隅に輝く病院をめざして」
- ・開催日時 平成 25 年 11 月 17 日(日) 8:40～16:00
- ・場 所 別府市山の手町 ビーコンプラザ
- ・参加人員(概数) 医師 63 名 事務部会 374 名 看護部会 1,019 名 栄養部会 98 名  
 医療技術部会 445 名 社会福祉部会 166 名 その他 335 名 計 2,500 名
- ・特別講演  
 演 題 「一隅に輝く病院をめざして ～歴史と災害に学ぶ～」  
 講 師 川 島 眞 人 先生 (社会医療法人玄真堂 理事長 川島整形外科病院)
- ・シンポジウム 「一隅に輝く病院をめざして～大分県下でチャレンジする～」  
 シンポジスト  
 長松 宜哉 先生 (社会医療法人関愛会 理事長 佐賀関病院)  
 井野邊純一 先生 (医療法人畏敬会 井野辺病院 院長)  
 松本 文六 先生 (社会医療法人財団天心堂 会長 天心堂へつぎ病院)  
 野口 靖志 先生 (医療法人財団野口記念会 理事 野口病院 放射線科部長)
- ・分科会 演題総数 166 題 ( 口演 63 題 ・ ポスター103 題 )

(5)共催研修会

- ・「情報交換会 IN 豊の国」 主催:日本病院会中小病院委員会  
 開催日時 平成 26 年 2 月 8 日(土) 13 時 30 分～18 時 30 分  
 場 所 大分市金池南一丁目 5 番 1 号 ホルトホール大分 3 階 「302・303 会議室」  
 テ ー マ 「地域・住民に対して病院は何ができるのか? - ITによる連携 -」  
 出 席 者 104 名

(6)名義後援

- ・日本脳外傷友の会第 13 回全国大会 in おおいた
- ・大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会
- ・大分県排尿リハビリテーション・ケア研究会
- ・大分県老人保健施設大会 他

B. 部会(コメディカル部門)の活動報告

1. 事務部会

(1)研修会

1)平成 25 年度第 1 回事務部会研修会

- ・平成 25 年 7 月 12 日(金)14:00～16:00
- ・開催場所 大分県医師会館7階大会議室
- ・出席人数 261 名 (116 医療機関)
- ・テーマ1 「施設基準について」  
講 師 九州厚生局大分事務所 審査課長 中野真司
- ・テーマ2 「健康保険法に基づく指導・監査等について」  
講 師 九州厚生局大分事務所 指導課長 杉安 雅典

(2)委員会 計 3 回 開催

2. 看護部会

(1)研修会

1)平成 25 年度第 1 回 看護部会研修会

- ・平成 25 年 6 月 22 日(土)14:20～16:30
- ・開催場所 別府ニューライフプラザ
- ・出席人数 159 名
- ・テーマ 「元気で安全な病棟づくりと人間関係スキルアップ」～こころの筋肉運動のすすめ～
- ・講 師 吉田 道雄(熊本大学教育学部附属教育実践総合センター 教授)

2)平成 25 年度第 2 回 看護部会研修会

- ・平成 25 年 9 月 28 日(土)13:55～16:00
- ・開催場所 大分県医師会館7階大会議室
- ・出席人数 126 名
- ・テーマ 「支えあう 病棟風土をめざして」
- ・講 師 長野 玲子(看護コミュニケーション・センター グレードアップラボ 所長 )

(2) 委員会 計 4 回開催

3. 栄養部会

(1)研修会

1)平成 25 年第 1 回 栄養部会研修会

- ・平成 25 年 6 月 22 日(土)13:00～17:00
- ・開催場所 大分県医師会館 6 階研修室 I
- ・出席人数 90 名
- ・一般演題Ⅰ 「オリゴ糖摂取による排便コントロールの試み」  
講 師 萱島 美和(山本病院 管理栄養士)
- ・一般演題Ⅱ 「口腔ケアチームの活動について」  
講 師 原 多加子(佐賀関病院 歯科衛生士)
- ・一般演題Ⅲ 「摂食嚥下について」  
講 師 河口 賢至(黒木記念病院 言語聴覚士)
- ・特別講演 「嚥下のメカニズム」  
講 師 河村 忠雄(天心堂へつぎ病院 脳外科部長)

2)平成 25 年度第 2 回 栄養部会研修会

- ・平成 25 年 10 月 12 日(土)13:00～16:40
- ・開催場所 大分県医師会館 7 階 大会議室
- ・出席人数 123 名
- ・一般演題 「糖尿病の食事療法の実際」  
講 師 田崎 亮子(新別府病院 栄養管理室長・栄養サポート室長 管理栄養士)
- ・特別演題 「消化器疾患の栄養管理の基本と実践 ～NST 症例から学ぶ～」  
講 師 佐々木 雅也(滋賀医科大学附属病院栄養治療部病院 教授)

3)平成 25 年度第 3 回 栄養部会研修会

- ・平成 26 年 2 月 15 日(土) 13:00～17:00
- ・開催場所 大分県医師会館 6F 研修室 I
- ・出席人数 70 名
- ・一般演題 「訪問栄養指導を普及させるために何が必要か 質問紙調査を実施して」  
講 師 平池 妙子(大久保病院 管理栄養士)
- ・一般演題 「肝性脳症発症後、在宅復帰した独居男性の食事療法在宅生活を支援する訪問栄養食事指導を目指して」  
講 師 北野 ひさ枝(黒木記念病院 管理栄養士)
- ・一般演題 「癒しとコミュニケーション ―日本緩和医療学会学術大会に参加して―」  
講 師 徳尾 美香(佐賀関病院 作業療法士)
- ・特別講演 「尊厳とは？ QOL と緩和ケアに学ぶ ～胃瘻症例を通じて～」  
講 師 今里 真(大分健生病院 PEG センター 副院長)

(2)委員会 計 4 回開催

4. 社会福祉部会

(1)研修会

1)平成 25 年度前期研修会

- ・平成 25 年 8 月 17 日(土)14:00～16:30
- ・開催場所 アステム大分本社 4 階 大会議室
- ・出席人数 36 名
- ・テーマ 「今、なぜ医療メディエーター(対話仲介者)が必要なのか」  
～中立の立場で対話促進～
- ・講 師 後藤 忍 (大分岡病院 医療相談担当部長)

2)平成 25 年度後期研修会

- ・平成 26 年 2 月 8 日(土)14:00～16:30
- ・開催場所 大分県社会福祉介護研修センター3 階小ホール
- ・出席人数 31 名
- ・テーマ 「医療の中に潜むトラブル」  
講 師 倉橋 芳英 (大分みんなの法律事務所 弁護士)
- ・テーマ 「ご存知ですか？健康被害救済制度」  
講 師 川副 博子 (大分東部病院 薬剤部課長)

(2)委員会 計 6 回開催

### Ⅲ. 地域リハ活動における課題・今後の展開

地域包括ケアシステムに向けた準備が少しずつ開始されました。地域リハビリテーションを担う病院のほとんどが大分県病院協会に所属しており、大分県病院協会としてはこの大きな問題に対して、可能な限り協力したいと考えています。以前から地域医療を推進してきた立場からそのベースはすでに整っています。

# (公社) 大分県放射線技師会

会長 江藤 芳浩



## I 会の現状

会員数:341名(平成26年3月31日現在)

## II 地域リハ関連の活動

### 1. (公社)大分県放射線技師会第17回学術大会の開催

平成25年10月26日(土) 14:00~17:50 大分県厚生連鶴見病院 南館5階「研修ホール」

一般演題

- ①「上口唇の小唾液腺に発生した唾石症の2例」 岡病院 甲斐秀明
- ②「USにて指摘し短期間に増悪した胸膜腫瘍の一例」 西田病院 柴富紀代恵
- ③「心エコー検査で経験した たこつぼ心筋障害の一例」 大分記念病院 堀田和幸
- ④「新旧頭部精密撮影装置システムの比較検討(ORBIXとAS-D1の比較)」

大分大学医学部附属病院 松江慶子

テーマ講演 「肝臓の鑑別診断をマスターしよう！」

- ①「超音波による肝腫瘤性病変の鑑別ポイント」 西田病院 江藤芳浩
- ②「今さら聞けない肝臓CT検査のあれこれ」 南海病院 簀戸良祐
- ③「難しい、肝臓MRI検査のポイントと診断の役割」

戸畑共立病院 画像診断センター 山本晃義

特別講演 「肝臓の鑑別診断のポイント」

大分大学医学部臨床医学系 放射線医学講座 高司 亮 先生

### 2. げんきフェア

平成25年10月13日(日)、全労災ソレイユにて、大分県保健医療団体協議会10団体による各団体の活動紹介、県民の健康増進を目的としたイベントを実施した。

### 3. レントゲン週間イベント

平成25年11月10日(日)、iichiko 総合文化センター内アトリウムプラザにて開催した。

開催内容 超音波操作体験、放射線被ばく相談、栄養相談、乳がん自己検診啓発、骨密度測定、CT3D画像、パネル展示他

### 4. 第10回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会(共催)への参加と協力

日時:平成25年7月21日(日)8:00~16:30

場所:別府ビーコンプラザ国際会議室

### 5. 第5回大分県地域リハビリテーション・ケア研究大会への参加と協力

日時:平成25年10月27日(日)8:30~16:00

場所:別府ビーコンプラザ

研究発表 桑原 宏 「(公社)大分県放射線技師会における訪問授業活動報告」

末吉聖二 「(公社)大分県放射線技師会における被ばく相談報告」

### 6. 学校訪問事業

大分県内の3校を訪問し授業を行った。



平成 25 年 11 月 29 日（金）大分市立小佐井小学校  
平成 25 年 12 月 18 日（水）大分リハビリ専門学校  
平成 26 年 2 月 4 日（火）大分市立川添小学校

#### 7. 平成 25 年度第 2 回大分県放射線管理セミナー

平成 26 年 3 月 16 日（土）ホルトホール大分「201 会議室」  
基礎講座「医療現場で使う手話を学んでみよう！」  
講師 社会福祉法人 大分県聴覚障害者協会  
特別講座「楽しく学んでコミュニケーション力アップ」  
講師 心理カウンセラー つだ つよし先生

### Ⅲ 地域リハ活動における課題・今後の展開

#### 【研究課題】

1. 体の動きの悪い患者さんに対して、患者さんの負担軽減と必要な診断情報を得るための撮影技術ならびに撮影補助具に関する研究
2. 骨密度検査の精度等についての研究
3. CTを使用した内臓脂肪測定の精度についての研究
4. 嚥下造影撮影の工夫、改善
5. 高次脳機能障害、整形分野に関する画像検査法の研究と読影補助
6. 整形分野、関節リウマチの MRI、CT、US 検査法の研究
7. 脳梗塞、心筋梗塞の予防に貢献するため、頸動脈 US 検査に関する研究。

#### 【連携】

1. リハビリの機能評価と画像情報の関連について他職種と連携を行い、患者さんの治療効果につながるような検査方法を模索する。
2. 骨密度測定、内臓脂肪測定を行う立場から転倒予防教室など、医療施設での活動に積極的に参画する。
3. 広域支援センターの診療放射線技師へ活動の協力を依頼する。
4. 県民へ正しい放射線の知識の普及を図る事業を行う。
5. 患者に対する放射線検査説明、被ばく相談に対応する。
6. 読影補助による他職種への専門性を生かした情報提供を行う。
7. その他、チーム医療を担う専門職種として他職種との連携を進め、診療放射線技師としての専門的役割を果たす。

### Ⅳ その他活動

1. 大分県防災対策推進委員会「放射性物質事故対策部会」委員として、「原子力災害対策に関する各種実施要領」の策定に参画した。今後、本会の放射線災害対応（県民の放射線サーベイ、除染、被ばく相談等）の体制を整える。
2. 平成 26 年 9 月 19～21 日、別府国際コンベンションセンター、ビーコンプラザにて、第 30 回日本診療放射線技師学術大会および第 21 回東アジア学術交流大会を開催する。

# (公社) 大分県薬剤師会

会長 安東 哲也



## 1. 会の現状

会員数 1,443名(平成26年5月1日現在)であり、次のとおり地域・職域薬剤師会を設置している。大分市薬剤師会(大分市・由布市)、別府市薬剤師会、中津薬剤師会、宇佐市薬剤師会、豊後高田市薬剤師会、国東市薬剤師会、杵築速見薬剤師会、日田薬剤師会、臼津薬剤師会(臼杵市・津久見市)、玖珠郡薬剤師会、豊後大野市薬剤師会、佐伯市薬剤師会、坂ノ市薬剤師会(大分市一部・佐賀関)、竹田市薬剤師会、大分県行政薬剤師会、大分県病診薬剤師会。

## 2. 活動内容

平成25年8月に開催された社会保障制度改革国民会議において、入院期間を減らして早期の家庭復帰・社会復帰を実現するとともに、受け皿となる地域の病床や在宅医療・在宅介護を充実させていく必要があり、介護・医療を併せ持つ高齢者を地域で支えていくためには、訪問診療、訪問口腔ケア、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問薬剤指導などの在宅医療が不可欠であると報告されている。

このようなことに鑑み、当会では平成25年度事業として「在宅訪問」「多職種との連携」の普及推進を図るべく、多職種による在宅医療、会員薬剤師による在宅現場での実践例などについての研修会を開催するとともに、大分県主催によるケアマネージャーを対象とした「介護支援専門員 医療・介護連携研修会」において講師を派遣し「在宅医療(地域医療)における薬剤師の役割とは何か?」と題し講演した。

## 3. 研修会の開催(開催場所 大分県薬剤師会館)

① 時期:平成25年5月25日

講師: (株)大塚製薬工場 学術部課長 松田 健氏

「在宅中心静脈栄養法そのⅠ」について

三愛メディカルセンター 山田 雅也先生

「地域医療における薬剤師の役割」

出席者数:104名

② 時期:平成25年6月30日

講師:

(有)ブンゴヤ薬局東大道店 荘司 晃寿先生

「当薬局における在宅医療の現状」

鹿児島県薬 原崎 大作先生

「調剤撮影システム」について

出席者数:113名

③ 時 期:平成25年8月24日

講 師:

(株)大塚製薬工場 学術部課長 松田 健氏

「在宅中心静脈栄養法そのⅡ」について

在宅薬局ロイヤル 堀 哲朗 先生

「当薬局における在宅医療の現状」

出席者数:67名

④ 時 期:平成25年10月26日

講 師:

服飾デザイナー 鶴丸 礼子先生

「服は着る」

あかみね調剤薬局 赤嶺 裕之先生

「当薬局の在宅への取り組み」

出席者数 80名

⑤ 時 期:平成25年12月14日

講 師:国立長寿医療研究センター長

鳥羽 研二先生

「在宅医療の現状と今後の展開」

出席者数 98名

#### 4. 研修会への参画

(1) 大分県介護支援専門員 医療・介護連携研修への講師派遣

会 場	開 催 日	開催場所	参加人員	講 師
豊後高田市	平成25年12月1日	健康交流センター花いろ	130	永 石 潤
臼 杵 市	平成25年12月23日	臼杵商工会議所	100	正 国 光 洋
別 府 市	平成26年1月13日	別府ビーコンプラザ	300	松 尾 啓 晃
豊後大野市	平成26年2月16日	ホテルますの井	120	羽田野 雅 文

# (公社) 大分県理学療法士協会

会長 河野 礼 治



平成25年度は公益事業として例年通り介護支援・介護予防キャラバン、公開講座及びスポーツトレーナー活動等の事業に加えて、16市町で開催された地域ケア会議助言者及び広域支援員の派遣、大分県高齢者福祉課主催による研修会講師派遣や杵築市の介護支援専門員・介護従事者向けアセスメントマニュアルの作成、杵築市介護予防現任者研修会講師派遣等、公益社団法人組織として活動しました。

## I. 会の状況

[1] 会員数：1,216人

[2] 支部構成：県内6ブロック（大分、別杵速見、県北、県南、久大、豊肥）

## II. 地域リハ関係の活動

### [1] 地域医療、地域保健及び社会福祉への協力に関する事業

#### 1. 第9回介護予防キャラバン テーマ「介護予防の視点から理学療法士の考える脳卒中の体操」

##### ①花月園（日田市）

日 時：平成25年11月25日（月）19:00～21:00

対 象：施設職員 参加者25名

##### ②富士見ヶ丘公民館（大分市）

日 時：平成26年1月25日（土）10:00～12:00

対 象：一般県民及び介護保険施設職員等 参加者22名

##### ③青雲荘（別府市）

日 時：平成26年2月19日（水）19:00～21:00

対 象：施設職員 参加者47名

#### 2. 第17回介護支援キャラバン テーマ「リハビリテーション介護の提案—起居・移乗の介助法—」

##### ①大分三愛メディカルセンター（大分市）

日 時：平成25年9月8日（日）10:00～12:00

対 象：近隣施設職員 参加者33名

##### ②佐藤第一病院（宇佐市）

日 時：平成25年10月18日（金）19:00～21:00

対 象：近隣施設職員 参加者38名

##### ③アイリスおおいた（大分市）

日 時：平成25年12月11日（水）19:00～21:00

対 象：施設職員 参加者50名

④ケアビレッジ朋友（日田市）

日 時：平成26年3月5日（水）19：00～21：00

対 象：施設職員 参加者28名

3. 理学療法啓発事業（第10回みえスポーツクラブスポーツフェスタへの協力）

日 時：平成26年2月23日（日）フレッシュランド三重

内 容：フィジカルチェックとコンディショニング

参加者：一般市民41名

4. 公開講演（対象 一般県民）

①疼痛解消法公開講座

日 時：平成25年10月27日（日）10：00～12：00 ※9：30より受付開始

会 場：臼杵市野津町戸上・旧戸上小学校体育館

テーマ：「腰・ひざ痛解消法」

共 催：臼杵市，臼津地域リハビリテーション広域支援センター，大分県理学療法士協会  
県南ブロック

参加者：70名（一般）

②地域包括ケアシステムに関する研修会

日 時：平成25年6月5日（水）19：00～21：00 井野辺病院 4階会議室

テーマ：「家に帰る，家で暮らすリハビリテーションチームで考えよう！自立支援ー」

対 象：医療・福祉にかかわる方（会費無料）

参加者：103名（会員66名，会員外37名）

③理学療法啓発公開講演

日 時：平成26年2月16日（日）別府市北部地区公民館

テーマ：「いつまでも元気に長生きするために～理学療法士がはなす転倒予防の話～」

参加者：22名

④協力部員養成講座（テーマ：起居・移乗動作介助法）

1回目：平成25年6月26日（水）19：00～21：00

会 場：新別府病院（別府市）

対 象：支援キャラバン協力部員 参加者21名

2回目：平成25年7月24日（水）19：00～21：00

会 場：新別府病院（別府市）

対 象：支援キャラバン協力部員 参加者21名

5. 災害時支援の構築

災害ボランティア研修会

日 時：平成25年5月30日（木）19：00～21：00

会 場：井野辺病院（大分市）

テーマ：災害ボランティア活動について

参加者：45名（会員45名）

## [2] 行政等他組織の事業への協力・支援

### 1. 訪問介護員養成講座等への講師派遣

- ①大分県シルバー人材センター連合会「医療の連携とリハビリテーション」  
7会場7名出向
- ②介護労働安定センター
- ③新介護技術講習会「健康管理の問題点と対策」
- ④介護労働講習会
  - ◇介護福祉士受験対策講座
  - ◇介護支援専門員受験対策講座
- ③短期専門講習「後輩指導研修 リハビリテーションとレクレーション」  
日 時：平成25年10月17日（木）宮原龍司（藤華医療技術専門学校）
- ④大分県ホームヘルパー協議会実技研修「リハビリテーション介護の提案ー起居・移乗の介助法ー」
  - ・竹田市総合社会福祉センター（竹田市）  
日 時：平成25年10月25日（金）18：00～20：00  
対 象：周辺地域ホームヘルパー 参加者28名
  - ・花月園（日田市）  
日 時：平成25年10月30日（水）19：00～21：00  
対 象：周辺地域ホームヘルパー 参加者13名
  - ・一燈園（別府市）  
日 時：平成25年11月12日（火）18：30～20：30  
対 象：周辺地域ホームヘルパー 参加者30名
- ⑤給食調理員研修会  
日 時：平成25年8月7日（水）コンパルホール
- ⑥地域包括支援センター現任者研修会  
日 時：平成25年8月28日（水）
- ⑦市町村介護予防二次予防事業協会モデル事業  
日 時：平成25年9月5日（木）
- ⑧大分県地域ケア会議他職種派遣事業 模擬地域ケア会議研修会第3回（アドバイザー）  
日 時：平成25年9月8日（日）
- ⑨大分県地域ケア会議他職種派遣事業 模擬地域ケア会議スキルアップ研修会  
日 時：平成26年1月12日（日）
- ⑩介護予防二次予防事業強化研修会  
日 時：平成25年1月20日（日）
- ⑪多職種派遣事業 成果報告会  
日 時：平成26年2月15日（土）別府ビーコンプラザ
- ⑫介護支援専門員 医療・介護連携研修  
テーマ：「廃用症候群及び整形外科疾患に係る評価とリハビリテーション」
- ⑬介護予防リーダー研修会「めじろん元気アップ体操を学ぶ」  
日 時：平成26年2月24日（月）

⑭第3回訪問リハビリテーション研修会（大分県理学療法士協会・作業療法協会・言語聴覚士協会  
合同研究会）

日 時：平成26年1月26日（日）

テーマ：「在宅における他職種連携の在り方」

⑮介護認定審査会への認定委員派遣

大分市、日田市、宇佐・高田地域広域市町村圏事務組合、国東市、豊後大野市、佐伯市

⑯障害者介護給付費等認定審査会委員 日田市

⑰大分県社会福祉協議会 社会福祉施設経営指導事業

### [3] 理学療法の知識の普及・啓発に関する事業

#### 1. 理学療法週間の実施

期 間：平成25年7月10日（水）～17日（水）

後 援：大分県、大分県社会福祉協議会、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送

①高校生対象理学療法説明会

参加者：22校107名

②理学療法週間イベント

日 時：平成24年7月7日（日）10:00～14:00

会 場：あけのアクロスタウン、ゆめタウン別府店

内 容：①健康年齢チェック ②パネル展示 ③理学療法に関する相談会 ④記念品等の配付

参加者：あけのアクロスタウン58名、ゆめタウン別府店74名

#### 2. 大分県保健医療団体協議会「げんきフェア」

日 時：平成25年10月13日（土）9:30～12:45

会 場：ソレイユ 7Fカトレアの間

#### 3. 大分県保健福祉部健康対策課主催「健康フェスタ」

日 時：平成25年11月9日（土）10:00～16:00

会 場：アトリウムプラザ

内 容：①健康年齢チェック ②パネル展示 ④記念品等の配付

参加者：142名

#### 4. 介護研修センターまつりへの協力

日 時：平成25年11月10日（日）10:00～14:00 大分県社会福祉介護研修センター

### [4] 地域リハビリテーションの理解と実行に向けた事業

#### 1. 地域ケア会議助言者のスキルアップ研修会

日時：（第1回）平成25年12月17日（火）19:00～別府市【参加33名】

（第2回）平成25年12月18日（水）19:00～大分市【参加39名】

内容：①会議資料のここを見る！ -理学療法士が考える自立支援-

（会議資料の見方と関連性を学ぶ）

②理学療法士が持っておきたい疾病管理の基礎知識

(疾病管理の概念を持ち、包括や事業所への助言に役立てる)

### Ⅲ. 地域リハの課題と展望

平成25年度は、地域ケア会議の助言者派遣等実施しました。平成26年度からは大分市でも地域ケア会議がはじまり、昨年度に増してマンパワーとスキルアップが課題のひとつとなります。それらの対応に加えて、地域包括ケアシステムのひとつでもある市町村介護予防事業にも専門職として積極的に支援していきます。また、テーマを「地域で支え合う社会作り～自立支援に向けて～」とした公開講演を実施いたします。



# (社) 大分県臨床検査技師会

会長 佐藤元恭



## 1. 会の現状

会員数：662名（5月2日現在）

支部構成：大分地区、別杵地区、県北地区、県南・豊肥地区、県西地区

大分県臨床検査技師会は、平成26年4月から公益社団法人として活動を開始することになった。平成25年度の活動は、事務局、学術部、組織部、企画部、経理部の組織体制で、学術部は各学術9部門に分かれ専門分野の研修会を行っている。組織部では県内を5地区に分けて定期的に学術集会や研修会を開催している。企画部では、大分県や大分市の健康対策事業への関わりや他団体との共催で健診やがん予防を啓発しながら臨床検査の必要性をアピールしている。

臨床検査は医療現場において、疾病の早期発見や正確な臨床診断には欠かせない業務であるが、近年、医療だけではなく、検診事業や公衆衛生、新薬の開発、予防医学などの分野でも臨床検査技師の技術が生かされている。NSTやICTなど他のメディカル・スタッフと協力のもとリハビリテーションの必要な急性期・慢性期患者に対しても積極的な関わりを持つようになってきた。

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

(大分県臨床検査技師会 主催)

### ①『全国検査と健康展』日本臨床衛生検査技師会と各都道府県技師会の共同

日時：平成25年11月16日(土)

場所：ホルトホール エントランス

内容：\*健康チェックコーナー 簡易血糖検査 90名、 呼気CO濃度 57名  
血管年齢計測 116名 頸部血管エコー 101名

\* 検診啓発ポスター、臨床検査についてのリーフレット“心電図ってなに？”

### ②第45回大分県臨床検査学会

日時：平成26年3月16日(日)

場所：大分県立病院 3階 大講堂

特別講演：「日臨技チーム医療優先課題について」

“日臨技は、なぜ検査説明・相談ができる技師育成事業を優先するのか”

日臨技チーム医療推進検討委員会 委員長 奥田 勲 氏

“検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会”参加報告

大分県臨床検査技師会 企画部長 野中 恵美技師

一般演題 12題

③ガン征圧、乳がん撲滅に関する事業「リレー・フォー・ライフ ジャパン 大分 2013」に参加

日時：平成 24 年 9 月 14 日～15 日

場所：大分スポーツ公園 大芝生広場

内容：(1)参加会員 68 名によるタスキリレー及びがん患者との触れ合い

(2)企画テントにおいて市民を対象にチャリティーイベントを実施

血流測定 453 名・血糖測定 420 名・骨密度 430 名・呼気 CO 測定 162 名

(3)掲示ポスターにおいて臨床検査技師とがん早期発見の役割を啓発

④エイズ・STI 予防に関する事業

日時：平成 25 年 10 月 19 日

場所：日本文理大学 キャンパス

内容：大分市保健所と協力して一木祭参加者に AIDS 予防啓発のパンフレットを  
約 800 部配布

日時：平成 25 年 12 月 1 日

場所：ホルトホール大分 202/203 会議室

内容：市民公開講演 「AIDS 世界と日本」

講師：高田 三千尋医師 大分記念病院 名誉理事長

⑤学術合同講演会

日時：平成 24 年 2 月 15 日

場所：レンブラントホテル

特別講演：「尿中異型細胞に関する臨床病理学的知見」

中津市民病院 検査科技師長 藤 利夫 技師

文化講演：「初代中津藩主 黒田官兵衛孝高（如水）の魅力と行動哲学について」

東九州龍谷高校 学校長 安部 恭一 先生

⑥学術部主催 生涯教育講習会・研修会

全 30 回 （平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月）

部門：生物化学分析部門、生理機能検査部門、形態検査部門、  
感染制御部門、移植検査部門、総合管理部門

⑦組織部主催 生涯教育講習会・勉強会

全 19 回 （平成 25 年 4 月～平成 25 年 3 月）

地区：大分地区、別杵地区、県北地区、県南・豊肥地区、県西地区

(多団体との共同事業)

① 大分県保健医療団体協議会 “げんきフェア” 平成 25 年 10 月 13 日 ソレイユ

② 大分県 “大分県健康フェスタ” 平成 25 年 11 月 9 日 iichiko 総合文化センター

③ 大分市 “CKD 予防イベント” 平成 26 年 3 月 8 日 ホルトホール エントランス

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

臨床検査は地域リハビリテーション活動との関わりにおいてはまだまだ希薄であると感じられる。近年、厚生労働省が推し進めている地域包括システムの中で医療、介護、住居の連携には関わることは現時点で困難であるが、医療現場からの側方支援を行うことは可能と思われる。例えば、寝たきり患者の感染防御対策、慢性疾患患者の栄養状態把握、循環器患者の心肺機能把握など検査結果を確認して適切な治療が行われている。また、病病連携、病診連携などで検査結果を共有する機会が多くなる。大分県では、医師会と臨床検査技師会で臨床検査値の精度管理調査を長年行ってきた。測定方法や原理に関してもデータ標準化事業の推進により大分県の多くの施設で測定された検査値は同様の尺度で解釈できるまでとなってきた。さらに、在宅医療においても POCT の進歩で患者のベッドサイドで多くの検査が行えるようになってきた。平成 26 年 1 月 21 日の全国厚生労働関係部局長会議の老健局の追加資料に『地域における医療・介護の総合的な確保を図るための改革』計画の底辺に地域での効率的・質の高い医療の確保としてチーム医療の推進が挙げられ、平成 27 年 4 月には、私たち臨床検査技師の業務拡大も行われる計画が進んでいる。私たちの専門職を活かす場所は、医療現場が主根であるが、今後の動向を見据えながら側方から支援できる体制を整えていかなければと考える。

# (公社) 大分県臨床工学技士会

会長 小川 一



## 1. (公社)大分県臨床工学技士会の現状

設 立：平成 2 年 6 月 24 日

社団法人設立：平成 20 年 1 月 31 日

公益社団法人設立：平成 25 年 3 月 19 日

(1) 正会員数 308 名 (平成 26 年 4 月 17 日現在)

(2) 賛助会員数 23 社

## 2. 大分県地域リハビリテーション関連の活動・取り組み

(1) 平成 25 年 7 月 21 日 第 10 回大分県リハビリテーション支援センター、大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会 別府ビーコンプラザ国際会議室

参加・スタッフ派遣

(2) 大分県地域リハビリテーション研究会

①平成 25 年 10 月 26 日 大分県地域リハビリテーション研究会交流会

全日空ホテル 5 階孔雀の間

②平成 25 年 10 月 27 日 第 5 回大分県地域リハ・ケア研究大会

別府ビーコンプラザ国際会議室他

参加・スタッフ派遣

(3) 大分県地域リハビリテーション研究会運営会議への出席 6 回/年

平成 25 年 5 月 13 日 第 1 回運営部会 出席

平成 25 年 7 月 1 日 第 2 回運営部会 出席

平成 25 年 8 月 19 日 第 3 回運営部会 出席

平成 25 年 9 月 17 日 第 4 回運営部会 出席

(4) 大分県地域リハビリテーション研究会役員会への出席

平成 25 年 5 月 27 日 第 21 回役員会 出席

平成 26 年 3 月 17 日 第 22 回役員会 出席

井野邊病院会議室

(5) 大分県保健医療団体協議会理事会への出席 3 回/年

(6) 大分県地域リハビリテーション研究会

平成 25 年 10 月 26 日 大分県地域リハビリテーション研究会交流会

全日空ホテル 5 階孔雀の間

運営部会及び役員会は井野辺病院 会議室にて開催

## 3. 学術技能に関する活動

(1)平成 25 年 8 月 25 日 (日)

平成 25 年度 教育セミナー (代謝編)

場 所：大分三愛メディカルセンター 会議室

参加者：66名

(2)平成25年9月8日(日)

平成25年度 教育セミナー(循環編)

場 所：大分三愛メディカルセンター 会議室

参加者：41名

(3)平成25年9月29日(日)

平成25年度 教育セミナー(呼吸編)

場 所：大分銀行ドーム 会議室

参加者：62名

(4)平成26年2月9日(日)

初級心電図セミナー

場 所：大分県看護研修会館 会議室

参加者：48名

(5)平成26年3月16日(日)

学術講演会 「これだけは知っておこう水質浄化」

場 所：仁医会病院 おおいた健康管理センター 3階会議室

参加者：78名

(6)平成25年9月12日

第32回大分人工透析研究会支援参加協力

場 所：大分市(トキハ会館)

#### 4. 情宣に関する活動

(1)会報及び会誌の発行に関する事業

①たより「OCEAN's 2013 VOL.1」を平成25年8月に発行した。

発行部数 440部

正会員	286部
賛助正会員	19部
賛助個人会員	1部
日臨工	1部
各都道府県技士会	46部
医団協	9部
大分県内高等学校	66部
予備	12部

②会誌 Vol.24.2014 を平成26年3月に発行した。

発行部数 450部

正会員	286部
賛助正会員	19部
賛助個人会員	1部
日臨工	1部

各都道府県技士会	46 部
医団協	9 部
大分県内高等学校	66 部
講演者	2 部
広告主	8 部
予備	12 部

## (2) ホームページの運営

当会ホームページの管理運営を行った。(大幅なリニューアルを含む)

- ・ 当会について
- ・ 学術集会・各種セミナー
- ・ 活動報告
- ・ 臨床工学技士って？
- ・ リンク
- ・ サイトマップ
- ・ お問い合わせ
- ・ 入会・退会・変更手続き
- ・ 新着情報

## (3) メーリングリストの運営

会員専用メーリングリストの管理・運営と独立行政法人医薬品医療機器総合機構からの「医薬品医療機器情報配信サービス」の情報提供を行なった。

内部理事メーリングリストおよび各委員会メーリングリストの管理・運営を行った。

## 5. 関連団体との交流に関する活動

各医療関係団体と交流を図り、県民への公益事業を行う。災害対策に対するマニュアル等を作成し、大分県・大分県医師会・大分人工透析研究会・大分県腎臓病協議会等と密接な連携を図り、災害に備えることを目的とする。

### (1) 災害対策に関する事

H25 年 8 月 30 日 (金) 日本透析医会「災害時情報伝達訓練」に協力

県内の施設に参加を呼び掛ける

H25 年 9 月 20 日 (金) 各関係団体との意見交換会 15:00～清瀬病院

- ・ 大分県透析医会、大分県社会保健部健康対策課と連携をとることを確認

H26 年 1 月 28 日 (火) 県南薬剤師会の勉強会で講演 (透析医療における災害対策) 田邊

H26 年 3 月 14 日 (金) 伊予灘地震 (M6.1) 発生の為、県内の施設の被災状況を確認した。

「災害情報ネットワーク」を活用

大分県西部地区透析医療フォーラムへの共催・参加

「静岡県中部における透析医療ネットワーク活動

日時:平成 26 年 3 月 20 (木) 19:00～20:30

場所:ホテル ソシア 2F「天領の間」大分県 日田市元町 17-3

出席 小川、田邊

【継続活動】

災害情報ネットワークの完成を目指す

H26年3月21日現在

登録施設 59 施設 (71 施設中)

6. Y ボードの活動を行い若い技士の交流及び志気を高める

平成 25 年 5 月 11 日 岐阜県 Y・ボード Next-G 4 名と施設見学及び意見交換会

施設見学先：児玉病院

平成 25 年 7 月 13 日 九州臨床工学技士会連絡協議会組織委員会出席

場所：聖マリア健康科学研究所福岡分室会議場（福岡平和ビル 3 F）

福岡市中央区天神 2 丁目 13 番 7 号 福岡平和ビル 3 階

平成 25 年 8 月 会誌オーシャンズにて Y・ボード活動報告

平成 25 年 10 月 5 日 九州 Y・ボード（リンクス X）委員会代理出席

代理出席者：小川会長

平成 25 年 10 月 6 日 九州臨床工学会で九州 Y・ボード共同発表（ポスター）

平成 25 年 11 月 17 日 大分県臨床工学技士会にて Y・ボード活動報告

7. 公益社団法人大分県臨床工学技士会設立記念講演会

（公社）大分県臨床工学技士会法人移行認定記念式典・講演会・祝賀会の開催

平成 25 年 11 月 16 日（土） レンブラントホテル大分にて

式典祝賀会出席者 88 名

記念講演会「熊本赤十字病院の国際救援・国内救援への取組 一心かよう支援」

講師：熊本赤十字病院 総合内科部長 上木原宗一先生

司会：大分大学医学部 腎泌尿器外科学講座 教授 三股浩光先生

# 大分県臨床心理士会

会長 大嶋美登子



## 1. 会の現状

正会員 203名、準会員 23名 (平成26年3月末 現在)  
〔部門〕研修、子育て・発達支援、学校臨床、産業、医療保健高齢者・HIV、被害者支援、倫理、広報、代議員、事務局

## 2. 地域リハ関連の活動・取り組み

### (1) 会議への参加

- ・大分県リハビリテーション支援センター 第11回 拡大運営会議
- ・大分県地域リハビリテーション研究会 25年度の役員会議・運営会議

### (2) 研修会の参加

- ・一般社団法人 日本臨床心理士会 第4回 医療保健領域担当者研修会  
日時：平成25年10月27日(日) 10:00~16:00  
場所：東京ビックサイト  
内容：講義「精神医療福祉行政について」  
講師：福生泰久先生  
(厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 課長補佐)
  - ・各県の取り組み報告:徳島県、大分県
  - ・日本臨床心理士会医療保健領域委員会活動報告 ・グループ討論及び報告
    - \*参加・発表：出口直子 (農協共済別府リハビリテーションセンター)
- ・第10回大分県リハビリテーション支援センター・大分県地域リハビリテーション研究会合同研修会  
日時：平成25年7月21日(日)  
場所：別府ビーコンプラザ
  - \*参加：羽坂雄介 (湯布院厚生年金病院)
- ・第5回大分地域リハビリテーション・ケア研究会大会  
日時：平成25年10月27日(日)  
場所：別府ビーコンプラザ  
テーマ「多職種で支える終末期ケア」
  - \*指定発言：加藤真樹子 (鶴見病院)
  - \*参加：羽坂雄介 (湯布院厚生年金病院)

### (3) 医療保健高齢者・HIV部門主催自主研修会

- ・第7回 医療現場に携わる臨床心理士の集い  
日時：H25年9月7日(土) 19:00~21:00



- ・第8回 医療現場に携わる臨床心理士の集い  
「命を抱える器としての医療現場の中で」  
日時：平成25年11月17日（日）10:00～16:00  
場所：ホルトホール 201 会議室  
内容：ロールプレイも含めた体験型研修会  
講師：西村育子先生（別府医療センター）

#### （4）医療部門&子育て・発達支援部門合同企画研修会

- ・日時：平成25年6月23日（日）13:00～16:00  
場所：大分大学教育福祉科学部附属教育実践総合センター  
テーマ：WISC-Ⅲ, WAIS-Ⅲ実施時における行動観察など  
内容：①グループディスカッション  
②全体でのシェアリングおよびディスカッション  
進行：佐藤晋治先生（大分大学）

#### （5）「大分リハビリテーション心理研究会」の開催

（場所：農協共済別府リハビリテーションセンター）

- 第23回研究会：日時：平成25年4月11日「てんかんについて」
- 第24回研究会：日時：6月7日「日常の困り事」
- 第25回研究会：日時：7月5日「物忘れ外来について」
- 第26回研究会：日時：9月6日「ストレスマネジメント・WISCの解釈」
- 第27回研究会：日時：10月4日「地域リハにおける心理士の役割」
- 第28回研究会：日時：11月29日「慢性期の統合失調症者への関わり方」
- 第29回研究会：日時：平成26年2月28日「心理相談室の立ち上げについて」

### 3. 地域リハ活動における課題・今後の展開

臨床心理士の国家資格化に向けて大分県臨床心理士会としては、署名活動、議員訪問などをおこないました。そして、一般社団法人 日本臨床心理士会は全国の署名を国に提出する準備が最終段階に入っており、4月22日（火）に開催された自民党議連総会にて国家資格法案骨子案が承認されました。今年度は特に署名活動などで他団体の方からの多大なご協力をいただきましてありがとうございました。

平成25年度はまだマンパワー不足が続いているため、当会として地域リハ活動に十分に組みこめる段階には至りませんでした。地域の方への心理的支援、家族支援、社会復帰支援などに対して臨床心理士として関わりをもっていけるように活動をおこなって参りました。その中でも、平成26年1月26日（日）には全国一斉「こころの健康電話相談」に大分県として参加し昨年より多くの相談を受けることができました。

来年度も、より一層他職種との協働と連携を図り、職域の拡大を目指していきたいと思っています。